(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可) 大正五年五月十五日 THE KEIJO NIPPO 第三千百十八號（一）

京城日報

十四日夕刊

定價 本紙 一部金三錢 一ケ月金六十五錢（郵稅共）前金 三ケ月金一圓九拾錢 六ケ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用一割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別 [illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

時間表 (行南) (行北) [illegible]

◎財政窮乏と馮の建議

政府財政の窮乏は昨今其の極に達せるにつき馮國璋は袁總統をして私財二千萬元を剩き以て之れが急に應ぜしめ同時に袁氏の眞意を國民に知らしむべしと建議せり（北京特電）

◎愛蘭暴民處置不當案

愛蘭暴動民に對する英國政府の處置を不當なりとする決議案は二日英國下院に提出せられたり（倫敦電報）

◎ア首相の愛蘭訪問 注目すべき此行

英國首相アスキス氏はダブリンに到著せりステフェンスと云へる人愛蘭の名に於て歡迎辭を述べて曰く仰ぎ冀くば首相にて愛蘭平定てふ此の大事業を成就せんと首相はそれに對答するに視著の意を以てせり又首相は此度の暴動の爲に荒廢せる市街を歷訪したりデーリー、グラフキック紙に曰く若し時局にして重大ならざれば首相も親しく愛蘭を往訪するが如きことなかるべしと（倫敦電報）

◎波斯方面露軍の勝利

バグダット方面に於て露軍はカスリシリンを占領し銃彈四十萬發砲彈々藥多量及び食糧を運ぶ駱駝隊を鹵獲し更に敵を追擊し大砲三門を獲たり（露都電報）

◎獨軍更に失敗を重ぬ ヴエルダン方面佛軍の優勢

巴里來電に依れば十一日午後發表の公報中に特に目立ちたるは獨軍が更にヴエルダンに於て失敗せることにしてミューズの西方に於ては砲兵隊の活動行はれ其の東方に於ける獨軍は午前二時ヴオー地方を攻擊せるが佛軍は銃劍突擊及擲彈によりて之を擊破せり（倫敦電報）

◎一年間無警告擊沈船

海軍次官マクナマラ氏は下院に於て發表して曰く千九百十五年五月七日より千九百十六年五月十日に至る間に於て武裝せざる英國汽船卅七隻及び中立國汽船廿二隻は無警告にて水雷發射を受けたるが米國は此の事實を承知せるものと信ずと（倫敦電報）

◎總督巡視 十四日公州

寺内總督は十四日公州を巡視す午前七時道廳にて一般官民の接見をなし其れより警務部、地方法院、實業協會、監獄、産業傳習所、面事務所、普通學校、慈惠醫院、郡廳、小學校、農學校、種苗場、守備隊を巡視し各所にて懇篤なる訓示注意を與へ長官々舍に午餐會を開き午後二時小井里に向ひ出發し多數の見送りを受け歸京の途に就けり（中島特派員發電報）

▲寺内總督歸京

南鮮地方巡視中なりし寺内總督一行は十四日午後公州を發し自動車を驅つて小井里驛に到著、同所より臨時列車に搭乘午後五時五十五分南大門驛著歸京す

▲寺内總督と忠州

△寄贈と賑恤 十日南鮮巡視の爲め來忠せし寺内總督は守備隊各官廳に酒肴料及び郡内高齡者九百四名赤貧者百二十名内鮮學校生徒二百六十六名に救恤金又は奬勵金を寄贈せり

△記念大宴會 寺内總督は徐郡守以下六十六名に宴會費として金百圓を寄贈したるを以て十四日午後七時より末廣に於て總督巡視記念大宴會を催し頗る盛會なりき（忠州）

◎阿部中將消息

阿部築城本部長は高橋總督附武官と共に元山方面を視察中なるが十六七日頃再び入京す可しと

◎名古屋實業家動靜

釜山鎭埋築事業を經營しつゝある名古屋實業家朝鮮起業株式會社長神野金之助同三郎氏外三氏は上旬釜山上陸後安東縣平壤方面を視察し十三日朝入京直ちに總督府に石塚長官、兒玉局長外當路者を歷訪し其の經營事業に付當局の意向を聞き又其の所見を開陳する所あり十四日は愛知縣人會に臨み亦訪客に接し十五日埋築事業に付寺内總督を訪問する筈なるが一行は同夜若くば十六日朝出發一路名古屋に向ふべし

◎吉原總裁發期

東拓總裁吉原三郎氏は既報の如く二十一日東京に開會の同社株主總會に臨席の爲め秘書役二宮德氏を隨へ十五日午後七時五十分南大門出發東上の筈なるが多分途中大阪に一泊すべしと

◎東拓社員東上

東拓總會列席の爲め同社堀江庶務兼計算課長、殖産課風呂中參事、鎌田書記の三氏は總裁に先立ち十五日午前八時三十分出發東上す

◎工藤事務官歸任

臺灣に於ける土地調査後の狀況視察の爲め渡臺中なりし工藤臨時土地調査局調理課長の一行は十三日朝南大門驛著歸任したり

◎府稅納期と滯納者

京城府の本年度第一期市街地稅家屋稅第一期等の告知書は疾に夫々配布を行ひたるが納期に際するも納入せざる者尙多く殊に府内知名の士にして滯納を爲せる向も尠からざれば此際至急納稅の義務を果されたしと

◎松永長官と京城府

松永京畿道長官は數日來連日午後一時より四時迄京城府事務の實地調査中なるが未た庶務、内務の各係を調査したるのみにして尙ほ引續き今後一週間を要すべしと

◎教育懇話會總會

京城府内の朝鮮人教育に從事せる公私立學校教員を以て組織せる京城府教育懇話會は既報の如く十三日午後四時より西大門倶樂部にて開會内鮮人及び外國人等二百數十名出席金谷會長の開會の辭に次で清水幹事の會計報告あり役員の改選に移りたるが小杉彥治氏の提議により二十五名の評議員二十四名の幹事は何れも重任を依賴することとし一同之を承諾し更に會長には金谷府尹重任と決し之にて議事を終り松永道長官及び田中半四郎氏等の有益なる講話あり五時閉會庭内にて茶菓の饗應あり五時半散會せり

◎朝倉中學見學團

朝倉中學吉田教員は學生九十名を引率し天地丸にて釜山著午後二時海路同船にて木浦に向へり（釜山特電）

◎京城府金庫出張所

京城府は府及び學校組合稅徵集の便を圖らんため鐘路に高陽郡金融組合、本町に京城銀行等の二箇所に府金庫の出張所を設けて便宜其附近の納稅者をして納稅の手續を了せしめたるが今回更に鐘路に府金庫出張所を設くることとなり

◎仁川運動會延期

十四日午前八時半より仁川觀測所前空地に於て擧行の筈なりし各學校聯合運動會は未明より降雨有りし爲め十五日午前八時半より擧行する事に變更せられたり

◎釜山鎭埋築 事業と其の利用 神野氏一行の談

入京中なる名古屋實業家神野金之助氏の一行に天員樣に訪ひ其の經營に係る釜山鎭埋築事業の現況並に將來の計畫を聞く曰く

予等今回の來鮮は釜山鎭埋築事業の第一期計畫近く竣工の筈に付其の見分並に將來の方針を定めん爲めなり第一期の釜山鎭埋築は前後三箇年の日子と

▲百五十萬圓の巨費を投じ十三萬坪の土地を得たるが此の内八萬坪は起業當時總督府に提供する契約なりしに付右坪數を當局に引渡すと同時に殘餘の五萬坪を吾々に於て如何に處分するかと刻下の急要問題たり之れに就ては予等も夙に調査研究を重ね來れるが結局工業地とするか倉庫を建設して其の營業をなすかに落ち行くべし借て工業と云ふも貿易の關係、關稅勞力、原料並に鮮内に於ける

▲物資需給狀況 の關係を精査するの必要あり之れ予等が釜山より北行して安東縣に至り平南地方を經て更に京城に入りし所以なり、要するに予等に一二の腹案はあれども未だ今後相當技術者を派し細目の調査を進め決定する迄發表し得ざるを遺憾とす。如斯にして第一期計畫終れば其の事業の効果を大ならしむる點より云ふも當然第二期及び第三期埋築著手問題となり來る予等が道回寺内總督及び各當局を歷訪しつゝあるは此の計劃の著手に關聯する所大なり第二期は第一期埋立地に隣接せる

▲十七萬坪の埋築 にして約三箇年にして竣工し更に第三期は約十萬坪にして結局四十萬坪の土地を得る勘定なり斯くの如くして釜山鎭の工業用地を得相當事業の興起され經營を盛んにするに至れば半島關門の實業的發展は著しきものあるべし予等は望みを將來に囑し其の經營に努力する考へなりと云々

◎元山經濟界近況

元山地方に於ては今や穀物賣行の繁盛期を眼前に控え居れば漸く經濟界に活況を呈すべく豫想されつゝあり而して客月中に於ける金融狀況に就き聞く所に依れば一時南洋輸出盛況の爲め俄かに昇騰したる綿布類は同方面に對する輸出緩漫となれる外原綿安價支那動亂等に因る安材料錯綜し從つて內地相場軟弱に陷り尙ほ元山方面に於ては賣行閑散なるを常とするにも拘はらず引續き約定品の入荷ありしが同品停滯に原因し資金の需要衰へず又浦鹽鰊の輸入並に鐵路搬出可なり盛況を呈し前半月は依然金融小緊を續けたるが後半月に入り米粟の入荷漸增を見るに至り多少活氣を帶びしと雖も約定綿布類の引取りは大方終了せるものゝ如く此他輸移入品市場は概ね閑散にして南方石首魚の漁期に入るや明太鯡等の買注文漸次減少するに至り資金は回收勝ちとなりたるを以て金融は小康裡に經過したりと（元山）

◎莞草製造の盛況

朝鮮生產の莞草を以て花莚其他室內裝飾用の敷物類を製造しつゝある光興外の早島物產商會は曩に米國の東部より約二十五萬圓の大注文を受け商會にては其後製造機械を三倍に增加し職工も亦三百數十人を使用して目下盛んに製造中なるが今日迄既に前後六回の輸出を爲したりと尙ほ最近には第七回分として約二千圓價格の花莚を神戸本店の手を經て輸出せり

◎東拓移民と各道

豫て東拓會社にては移住民の指導に付意を注ぎ又た之れを各道廳に乞ひ技術官に囑して農事講習會を開き或は農事上の注意事項を印刷頒布し又は常に會社の技術員を派遣して實地指導を爲せるが延て移住民の地方開發に資する處尠なからざるが夙に地方道廳にても茲に留意し就中忠淸南道の如き管下各郡衙に移住民臺帳を置き農作其他生活狀態等に就き細わず注意し又過般訓令を以て規定せる郡衙駐在の農業技手及び農手の職務中にも特に移住民の指導に關する事項を加へたる等大に移住民の指導に努め居れりと

◎東拓の教育機關補助

最近東洋拓殖會社の調査に係る移民收容地部落附近の學校並に學童收容所に對する補助金交付數の各道別は左の如く總數八十六箇所なりと

京畿道十三、忠南九、全北十、全南二十一、慶北十六、慶南十二、黃海五、

平壤

▲歸還部隊出發 既報の如く步兵三十一旅團司令部及び六十九聯隊本部は旅團長伊藤少將聯隊長村井大佐以下將校下士卒二十七名軍旗と共に十三日午前一時三十分發臨時列車にて京城經由元山に向け出發せるが驛には新設七十七聯隊將校平壤在鄉軍人分會員府協議會員赤愛社員道府裁判所高等官新聞記者其他多數府民の見送ありたり ▲法院長官出張期 來る五月二十二日より京城に於て開かるべき司法官會議に列席の爲め鳥山平壤覆審法院長其他兩法院の三長官は各主任書記一名を從へ來る二十一日頃出京すべしと ▲特別稅不許可 平壤府より稟請中なりし府條例に依る特別戸別稅賦課徵收の件は今回不許可の指令に接したる由該稅に依る大正五年度の歲入額は六千五百二十五圓の豫定にして已に歲入に組入れあり結局不許可の處分は府歲入に缺陷を生ずる事となれるが他に財源を求むるに途なく尙又歲出を減ずることをも爲し能はず目下對當局に於ては善後策に就き考慮中なりと ▲車體檢查成績 平壤警察署に於ては今回管內人力車々體檢查をなしたるが其成績を見るに車體總數百十二受檢數百零二內車體の修理を命じたるもの二母衣其他の屬具修繕を命じたる者十二也 ▲麻疹患者 一月以降麻疹患者の部調査に據る本年一月以降の管內麻疹患者は左表の通りにして死亡率は一割二分三厘強なりと

區域	發生患者數	死亡數
平安南道	一、八四六	二二八

元山

▲軍旗と立花將軍 第十九師團步兵第七十三聯隊（羅南）同第七十四聯隊（咸興）に授與さるべき軍旗三旒を奉持し十二日午後四時四十五分著列車にて著元大東館に投宿したる立花中將は翌十三日元山部隊の視察を終り同夜出帆の穩城丸にて咸興に向ふ ▲阿部中將滯在 十二日午後四時四十五分著列車にて來元したる築城本部長阿部中將は永興灣要塞視察の爲め五日間滯在の由 ▲兩中將歡迎宴 元山官民有志は十三日午後六時三十分より道回來元の阿部中將立花中將並に其一行を東洋軒に招待し歡迎晩餐會を催せり ▲學校運動會 元山公立尋常高等小學校及び公立實科高等女學校兒童の春季大運動會は十四日午前八時より尋常高等小學校々庭に於て開催の筈なるが前年に比し著しく兒童の增加し居れる事とて當日は定めて盛會なるべし ▲家屋新築激增 四月末を以て砂利撒布其他全部の竣工を告げたる海陸連絡道路に沿ひ昨今家屋の新築に著手せるもの多く又州洞附近に於て最も著しきを見る尙其他德源街道の兩側等兒に角昨今俄かに家屋新築の激增しつゝあるは喜ぶべし ▲田代坪井兩氏送別會 今回淸津建設事務所に轉任を命ぜられたる元山鐵道建設事務所事務課主任田代才八氏並に近々平壤に赴任すべき郵便局技師坪井氏の爲め元山官民有志相圖り十二日午後六時より東洋軒にて送別晩餐會を開催し主客共に頗る興を盡したりと

北青

▲最近市況 北青地方に於ける市況を聞くに概して不振の狀態にあるものゝ如し目下農繁期に入り耕牛の需要漸く多きを加ふる爲め牛皮の出廻り著しく減退し明太は在荷潤澤なるも相場引立たざるのみならず賣行き又不況なり綿布及び雜貨類は夏物の仕入季節の迫まれる折柄なれば荷動き面白からず尤も昨今は鴨綠江流筏季に入れる爲め奥行き貨物は可なりに輻輳しつゝありと雖も附近鮮人は農事資金に迫まられ居りて一般商品の賣行き捗々しからずと

木浦

▲各銀行營業成績 木浦三銀行四月中の營業成績は預金高八十九萬七千七百四十圓拂戻高八十二萬四千九百五十八圓月末現在高百十九萬七千〇四十四圓にして貸金は貸出六十二萬〇五百二十一圓回收六十八萬二千六百〇七圓月末現在貸出八十五萬六千六百六十八圓手形取扱高は仕向三十七萬一千八百八十五圓被仕向二十八萬一千〇三十四圓なりと

▲硅砂と新設備 大黑山島の硅砂は其の後引續き採取されつゝあるが旭硝子會社にては諸般の事項に鑑み近く同島に特別の設備を加へるやにて同島は爲めに一新面を開くべしと ▲旅團長來木 第四十旅團長白井少將は十二日午後四時の列車にて來木三吉野旅館に入れるが十四日潮南守備隊巡閲に向ふべしと ▲旅團長招宴 當地官民有志數十名は白井旅團長を十二日夜木浦ホテルに招待し晩餐會を催ふしたり

大邱

▲大邱氣溫回復 大邱を中心とせる地方の氣溫は四月末までは例年に比し約二週間遲れをる狀態なりしが五月に入り俄かに暖氣を催し却て例年より氣溫稍々上騰するに至れり是を例年氣溫に比較すれば左の如し（郵氏）

	累年平均	昨年	今年
五月十二日 午前六時	五一度八	五二度六	五九度
同 正午	〇	〇	七八度八
同月十三日 午前六時	五一度八	四八度二	五三度六
同 正午	〇	〇	七五度二

▲蠶業講習所蠶兒 慶北蠶業講習所に於ける原蠶種蠶兒は十四日第一齡を了したるが第一齡前まで氣候不順の爲め稍々憂慮せしも給桑の方法宜しき爲め後筋肉、脂肪共に良好に經過しつゝあり ▲岩谷一等獸醫 朝鮮駐劄軍一等獸醫岩谷虎雄氏は家畜飼料資源調查の爲め十二日來邱せり ▲英陽組合準備委員 大森佐七郎氏は今回慶北英陽地方金融組合設立準備委員を命ぜられ十五日任地へ出發す可しと

釜山

▲慶南警察署長會議 釜山憲兵分隊長野津中尉、釜山警察署長橋本秀平、蔚山警察署長鈴木兵作氏等は晉州に於ける署長會議の爲め十三日午後朝郵汽船にて晉州に向け出張せり ▲進水式と試運轉 朝鮮水產組合にては組合專用の巡邏船龍南丸を建造中なりしが十三日正午十二時竣工進水式を行ふ筈なり尙修繕中なりし江慶丸も竣成したるを以て試運轉を行ふべしと ▲海雲臺溫泉場 既報の如く海雲臺溫泉場は去る四月以來工事進捗中なりしが本月中に工事竣工し來る七月一日より開業する由にて旅館等の設備完成せりと ▲廣田校長歸省 釜山中學校長廣田直三郎氏は十二日夜郷里小倉へ向け歸省せるが同氏は脚氣療養の爲めなりと ▲寺澤主任歸釜 寺澤釜山ホテル主任は先般來金剛山ホテルに出張中なりしが十二日午後七時歸任せり

人事消息

▲阿部秀太郎氏（平壤鮮銀支店長） 十四日朝入京山本旅館へ
▲松原純一氏（長春鮮銀出張所長） 同不知火へ
▲西山喜久平氏（新義州鮮銀出張所長） 同上
▲津村甚之助氏（鎭南浦鮮銀支店長） 同上
▲立花第十九師團長 十三日元山發咸興へ
▲廣田直三郎氏（釜山中學校長） 脚氣病療養の爲め鄕里小倉へ

法人登記公告

長湖院地方金融組合登記事項中左ノ通變更ス
一、監事李翊濟大正五年四月拾八日死亡ニ付削除
右大正五年五月壹日登記
京城地方法院利川出張所

公告

一、載寧地方金融組合理事平井忠助辭任シ大正五年五月貳日左記ノ者理事ニ就任シタリ
黃海道載寧郡載寧面小舘洞四統六戶 奥村鐵三郎
右大正五年五月拾貳日登記
海州地方法院載寧支廳

公告

一、土地 慶尙南道統營郡土佐村所在 九千四百七拾坪八合
一、建物 二百七十六坪五合
右賣却ス望ノ者ハ總督府慶尙南道廳、釜山馬山府統營固城泗川郡廳及朝鮮水產組合ニ付土地建物明細書並ニ入札心得等ヲ承合ノ上土地建物各別ニ入札金額ノ百分ノ五以上ノ保證金ヲ添ヘ六月二十日午前九時迄ニ本廳ニ入札スヘシ但郵便入札ヲ許ス
即時開札
高知縣

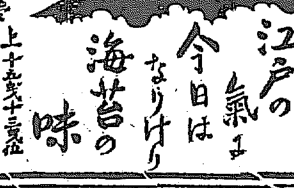
簿記生徒募集

男女簿記生徒募集 六ケ月ノ修業ニテ官衙銀行會社鑛山鐵道商店等ノ事務員タルベキ實力ヲ養成シ卒業後ハ確實ニ就職紹介ス規則要二錢
京城南大門通五丁目八三
京城簿記專修館

複寫簿

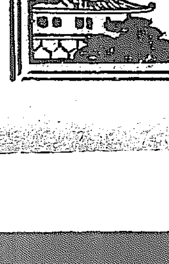
カーボンペーパ 複寫紙 製造卸 求特約店
大阪東區南農人町 松屋町通南入 孝文舍印刷所
電話東三八九〇番 振替大阪二七六六番
見本二錢郵券送ル

江戸の氣は今日はなりけり海苔の味



乾海苔 帖 上十五戔十二戔位 中十戔十戔位 並七八戔以下
味附海苔 一四十戔 八十五戔 六十戔 五十戔 四十戔 参十戔
燒海苔 五十五戔 四十戔 三十戔
海苔佃煮 卅三戔 廿三戔 十六戔 十一戔

東京日本橋通リ二丁目
海苔鰹節商 柳屋
電話本局 六五二 口座東京 二二七六



□城壁廻り　(上)仁旺山上の記念撮影　(下)仁旺山の絶壁を攀づ

◎城壁廻りの記

郊外の初夏 豌豆や白藤の花盛
岩に穿つた階段を攀ぢ登る 一歩過れば怖しい千仭の谷

‖北門にて甲記者‖

近來恒例に成つた日曜日の雨は又降り出した如何に氣負ひ立つた城壁廻りも此の雨ではどうする事も出來まいと思ひながら午前七時集合地に定められた南大門小學校の運動場に出て見ると此の時既に運動場には草鞋、脚半と云ふ

▼身輕の拵へで

集つた會員は百名を越して居る上に猶ほ三々伍々運動場を指して集つて來る其内に七十八聯隊からも六十名ばかりの兵士が俄に會員に加つて却々勇氣勃々氣焔當るべからずである「出掛ろ〳〵」「雨位に驚いて居つて何うなるものか」「加五里の先例も有るぢやあないか」と會衆が聲々に叫ぶ「降雨の爲めに今日は中止します」とでも云はうものなら一揆位はすぐに起しさうな勢ひである此方は素より雨ぐらゐに辟易しては居らない會員既に此の意氣込であれば空模樣は少しも問題ではない忽ち出發合圖は漢陽公園から雲を破つて三發の煙火が響き渡つた先導隊に附けられた朝鮮樂隊の胡笳は吹奏せられ社旗と共に先登に立つて動き始めた時に

午前七時四十分

會員は數百餘名を註せられたり小學校運動場を出發したる一行は直ちに城壁の外側に著きて西を指す軍帽夏帽冬帽朝鮮帽子等雜然として隘路を進み西小門通りを横切り衛門の跡を弔し更に狹路に入り城壁の一部に登る雨に濡れたる城外の青葉は始めて美しく眼の下に展開したミルク色の白藤の花や支那人家屋を取り卷いた豌豆の花などが郊外の初夏を飾つて居る加藤清正だの小西行長だの、歴史談が其處にも此處にも話し交はされる西大門の跡を訪ひ更に西して杏村洞の大銀杏樹の下城壁の崩壞した個所から初めて城壁内に進入すると茲は既に

▼仁旺山の麓に

成つて京畿道の造林地である行儀よく植ゑ付けた松、アカシヤ、などが雨に綠の色を増して白い濡色の砂原に行く春の雨が靜かに降り注いで恰度公園などの中を歩んで居る樣な眺めである道は漸く急勾配に成つて來た砂防の爲めに植ゑた萩の若葉は葉毎に銀の雫を滴らせて岩の間には矮生の杜若や野生のアネモネ草石楠などの花が一面に咲き充ちて居る城壁の間から眺めると獨立門獨立館附近一帶の青い夏が雨に濡れて一しほ鮮かに美しい市中は模糊たる煙雨の底に沈んで居つて遠い〳〵夢の世をでも眺める樣である此の邊から道は漸次に急勾配となつて一人宛並んで進まなければ爲らない石英質の砂礫の間にヨシヅの白い花が咲いて若晴天であつたならば

此の白砂と白い花とに反射して

目眩むばかりで有つたらうに幸ひの雨天は攀登るには頗る好都合であつた岩を穿つて拵へた幾段もの石段を登つて仁旺山の東南峰に登ると風雨に颺しく京城市街を覆うた煙霧が薄らいで浮き出した樣な街の家並や街路樹などが手に取る樣に見ゆる城外を見ると京城監獄の廓内が皿の中を見る樣に見ゆる其の上に雨に洗はれた佛岩が數疇でも爲て居る樣に突立つて居る佛岩ばかりではない樣々の形をした大岩が彼處にも此處にも立つて居るお多福岩、鬼岩、達磨岩、猿岩、獅子岩、薙刀岩などと名を付けて見たが果しもなく奇岩怪石が續出して來る、西北の方へ出張つた堞に登ると昔望樓の在つた跡だあらう瓦の破片などが散らばつて居る此處からは

▼義州街道一帶

の山野一眸の裡に入り遠く漢江の水洋々として繞ぐり何萬の敵にても寄せ得らるゝならば寄せて見よと云ふ豪岩な心持になる更らに苔蒸す岩を穿つた石段を踏んで西北峰に登る小徑一歩を誤れば千仭の谷は下に口を開けて居るあわかに優しい岩躑躅の花は雨に洗はれた岩の襞に繡模樣の如くに咲いて居る仁旺山上で記念撮影を行ふ下り口は更に危險である何十丈とも分らぬ如うな緩斜面の岩を四つ這ひになつて上り下りする處なども有つた仁旺山と北門との間に更に一つの小岳あり此處よりする市中の展望最も好し景福宮内の白亞館香王殿近く山麓の碧雲莊等黑き市街と綠の森とを背景にして鮮やかに浮んで見ゆる

城外の石坡亭は初夏の綠を壓し

て森の上に眺められる、北門萬巣居なども花咲く松の上に見えて壯大に且つ優美なる景趣である之れを下ると道は總督府の模範林に入る一丈餘位の若い松の密林である森を穿つて進むと云ふ言葉は眞に斯んな時に用ひるのであらう腰を屈めて枝の下を潜つて行くのであるが却々明い處には出られない幾人もの衣に泌み松の葉末は濡れてさへ居られぬ漸く青い芝地に出ると彰義門外果實の村は蕾の樣に眺められる樣々の果物の花は梢を離して晩春の雨が小さな青い果實を育んで居る彰義門に登ると白岳南山等は雨に煙つて晶子の「古き城は立てり靜かに山上の若草そよぎの薫ずる雨に」を思ひ出さしめる時に十時四十分——南大門を出てより僅かに三時間なり（つゞく）

◎伊達家の 珍什名器 工藝美術の粹を盡くす

名筆名筆の幅には第一に小野道風の継色紙あり「梓弓磯邊の小松誰か世にか萬代かけて種をまきけむ」と讀下せらる、紀貫之の寸松庵色紙もいみじきものとす、もとは連歌師豬苗代家より傳はり「秋風の吹上にたてる白菊は花かあらぬか波のよするか」といへる菅原朝臣の歌なり、斯る古筆物は逸品豐富なれど、就中珍品として再無きものは、定家、慈鎮、家隆の

▽三筆三幅對 にして定家のは一生五首の名歌中の一、家隆のは、一生三首中の一、慈鎮のは實に一生一首の最秀歌にして、「我が戀は松を時雨の染かねて眞葛ヶ原に風さわぐなり」と詠ぜしものなり、尚これは歌にはあられど、平素詩白樂の消息文は三千世界を探らしても、帝室御物と此一幅あるのみ、寔に珍らしく少しの汚れさへなきも珍し、歌集の斷冊も、少からざるが、頓好法師の拾遺和歌集は、康永元年五月十八日寫筆の奥書ありて頓好中の傑作と稱せらる、慈鎮和尚の口吉法集百首發物も傑作にて、唐木の箱には小堀遠州の金銘あり、一休和尚の自畫讃發物は、人生の無常を觀ける ものにて其讃には俗世の臭味なく、虚堂七世東海純詩興笛一節一休子宗順の長篇歎美歌にして

▽細川三齋公 の箱書もあれば無上の重寶と貴するに足る悉皆是珍寶といふべき入札なれば、其他一々詳記し難けれども、特種の品名を列舉すれば、顏輝の達磨と牧溪の芦雁との大三幅對は、道が大名道具として片桐石州が想を凝らせる表裝の莊重なるは、言ふ丈け野暮なる圖の雄大を損せず、完璧の御懸物といふべし毛益の麝香猫圖は

▽君臺觀所載 といへば多言を費すに及ばず、馬遠の周茂叔は[illegible]かと疑はれ、孫君澤の樓閣山水は汚染甚しけれども定評ある名畫にて、商景の孔子顏淵子路三大幅は探幽齋來の傑出品なり、以上の外支那畫類は逸品揃ひなるが、陳國は竺田悟心の一偶あるのみ、餘は佳什なれども緊くに足らず、本朝畫にては元信の眞山水横物、常信の孔明補公圖、我兄弟の三幅對、松花堂の布袋等評判に上るべく、友禪の花鳥二幅對は那邊味の美觀なり、[illegible]帖にては具慶の源氏物語一冊、[illegible]其他の百人一首帖、光起の百人大將五帖、[illegible]飲中八仙畫一卷等悉く識者の推賞するものとす、器玩には前記以外

▽尚は名物品 あり、瀨戸八雲肩衝茶入、春慶陰擂座茶入、大井戸茶碗、因幡堂釜、小天狗壺等は何れもそれにして、形物にて其著の珍重晉ならざる辻堂の香盒、信長傳來にて有名なる淡路屋舟の釣花生、東福寺の銘ある青磁管足の香爐、紹鷗所持の古芦屋釜、傑構壯麗なる有明蒔繪硯箱、工藝美術の粹を盡したる近江八景蒔繪十種香皆具及び古代樂器類、革類は呼物に數へられつゝありたり

◎北滿稀有の降雪

昨日[illegible]寛城子[illegible]の[illegible]は例年より[illegible]冷と雖も夜に入りては街上の積水全く凍結し翌七日には早朝より大雪亂[illegible]

◎薩摩丸船主を訴ふ

▽圖平船沈沒事件判決

京城地方法院に提起したり原告の主[illegible]附したる金額の損害賠償請求訴訟を薩摩丸に仁川港迄曳船して貰ふことの[illegible]然るに[illegible]にては別に[illegible]の訴訟に及びたるものなるが同法院[illegible]二等、四十七名[illegible]々木光子、同太郎、同[illegible]安井小太郎、河野[illegible]

◎六十尺救助梯子の實驗
警務部長の訓示—春季消防演習

京城府内春季消防點檢並に演習は既報の如く十四日午前九時より西大門町興化門内京城中學校運動場に於て擧行されたり入口なる興化門には大國旗を交叉し

▲運動場の中央 には萬國旗を高く蜘蛛手に張り演技場來賓席の設備遺憾なく整ふ聽て消防係主任小熊警部の引率する京畿道警務部常備消防隊を先頭に京城消防組、新昌龍山一部消防組、麻浦及桃花洞消防組は各係員引率の下に場内參集、午前九時警務部消防主任荻原副官指揮の下に全隊を整列せしめ隈部警務部長の點檢あり次に小熊警部指揮の下に縱隊行進及び

▲這般新に購入 したる長さ六十尺の伸縮自在なる救助梯子の操作實驗を行ひたるが極めて好成績を示したり各隊組は場の中央に方陣形に整列し隈部警務部長より組員の服裝及び器具機械の取扱方、消防組員の注意すべき事項新に發布されたる警務部令の消防規則、消防組員救濟消防養倉等に關する説明其他懇切なる訓示あり折柄降雨激しきため

▲運動會を中止 し天幕内にて豊齣の饗應あり組員は兩三回の綱引競爭を演じて終りを告げたり此日雨天にも拘らず來賓としては隈部部長金谷府尹の外警務總監部よりは山形參事、角雨課長初め有賀京畿道第一部長、警務部より境西脇兩警視以下全員宮舘本町、松井鍾路、安藤高陽、矢野龍山の各署長、石原府事務官芝崎中學校長市内消防關係有志者新聞記者等多數ありたり

轉居
今般南山町貳丁目貳拾參番地へ轉居仕候
須々木幸次郎

◎各地天候不良

十三日朝來渭河流域に發生したる低氣壓は東方に進行して同日夕山東省に至り更に進んで朝鮮半島中部を驅はんとする爲め青島旅順に於ては既に降雨を催し朝鮮は各地共曇天となれり而して各地共其影響を受けて天候不良となるべく京仁地方又多少の降雨有るべく豫測せらる（測候所談）

◎東亞煙草野遊會

東亞煙草會社にては十四日奬忠壇に於て社員職工六千餘名の野遊會を催したり

本社發起の城壁廻りは折惡しく雨天にて設備萬端不行屆なりしは洵に遺憾に不堪候然るに多數同好諸君の發奮參加ありたるは本社の多謝する處に御座候
大正五年五月十四日
京城日報社
毎日申報社

演藝案内

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 五月十三日より差替の特別大寫眞 ○實寫伊太利ルクリの潮水 ○新派活劇 變化島田 全三卷 ◎英獨海戰 S二號 全三卷 ◎復讐美談舊劇 笠森お仙 全三卷 ▲伊太利チネス會社特作品

壽座 本町 電話五七八 改正義團一行 大阪朝日新聞小說 母と子

浪花館 明治町 電話二六〇番 女流浪界の名人廣澤千代女一行

大正館 實錄 崇禪寺馬場敵討 人氣如沸 慘絕！悲絕極まる 連夜滿員御禮

壽館 電話一〇五〇

御成座 電話二九一 三府合同歌舞伎 市川海老松 阪本龜鶴 大一座

大正館 櫻井町 電話八七三

クスリはホシ　ホシゴノール　外道藥四才徐園 各地藥店にあり　定價 ▲淋病 ▲濟泪 二十錢、卅五錢、五十五錢、一圓

顧問高島平三郎先生
コドモ
六月號出來
幼年雜誌 **良友**
まじめで平易で教育的で見ても讀んでも面白い繪雜誌
東京小石川林町五十一 コドモ社 電話番町六二八番 振替東京二七九六番
□一冊十二錢□六冊六十六錢□十二冊一圓卅五錢□別に郵税「コドモ」は五厘宛「良友」は一錢宛を加ふ
尋常小學生徒の最も好い讀物
最寄書店になくば本社へ申込あれ

鉛鑛買入開始
▲從來金、銀、銅、亞鉛、重石鑛等買鑛致居候處本月ヨリ更ニ鉛鑛買入開始仕候ニ付鑛量ノ多少ニ不拘續々御送鑛ノ程希望仕候
▲前記鉛鑛中含有ノ金銀ニ對シテハ相當ノ代金御支拂可申候
▲目下選鑛場建設中ニ付之カ竣工次第鉛ノ貧鑛モ御引受可申候
大正五年五月
久原鑛業株式會社 鎭南浦製錬所

時代の要求により創製の營養劑（醫家應用品）
最新鉄劑 **フエロール**
譯名 滋精 應用 體育保全 補血營養
梅毒症應用新劑 沃度フエロール
皮膚病應用新劑 アルゼンフエロール
氣管支症應用新劑 グヤコールフエロール
フエロール及ヱフロール合劑品目
フエロール 大 一ヶ月分 一圓五十錢 小 七日分 八十錢
沃度 アルゼン グヤコール 各 大 一ヶ月分 一圓八十錢 小 七日分 一圓
●賣捌は各藥舖にあり ●賣捌なき地方は本舖へ注文あれ
創業元 大阪東區道修町 藥劑師 小西久兵衛
代理店 京城南大門通 新井藥房 大黑藥舖 石田濟生堂 京城太平通 木下藥舖 キムラ藥舖 釜山辨天町 安東縣市場 元山港 井上藥舖
本品は賣價に於て新發賣品に比し割安なり

陸軍御用達
優等 清酒
釀造發賣元 京城蓬萊町 三巴酒造場 電話一〇六七番 振替口座六一八番
太平 太田支店 電話一三五番
太平 擴支店 電話五一二番
特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

少雨後曇 五月十五日 [illegible]

風起りて各汽船は拔錨を停止し六日の降雪は北滿に於ても實に稀有の事に到り風息みて雨となれり此日は舊暦四月五日の立夏なるに天氣俄に寒くなりたと（長春）

……西東勝吉の兩氏を相手取り金一千三百二十八圓二十五錢に五分の利息を……國平船に積み之を同地より仁川港へ廻漕するに際し料金十圓の契約にて……纜切斷して沈沒するに至り前記の請求金額の損傷を蒙りたるを以て右……

◉火見櫓から　京城二十四時

監視の任務は重いけれども亦た愉快である

望樓に立つて爽快を感ずるのは曉頭の二三時間である、此の頃ならば四時半を過ぎると東の空が白んで來るが、クッキリと黑い奬忠壇あたりの山の中から旭の差昇るにつれて薄紅ゐにぼかされてくる、さうして

◆淡く罩めた霧がだん〳〵晴れて太陽の姿がはつきりしてくる六時頃になると深い眠りに落ちてゐた市中は先づ氣魂しい音を立てゝ軌り出す電車に呼び起される、四方の工場から吹鳴される汽笛の音に目醒める、續いて靜止から活動に入るいろ〳〵の音響が愉快に聞えて來て機關の回轉が一齊に開始されたやうに感ぜられる、此の時望樓に立つた人の頭には漸く少しの餘裕が與へられる

◇市中が活動に入つたのを見ると共に初めて安心の胸を撫で下ろす、すると今度は工場の煙突から吐き出す煙と共に四方八方から炊爨の煙が立ち昇つてくる、それが霧の間に縺れさまよふので此處に又鳥渡紙を透して物を視るやうな眼の働きをさせなければならぬ必要が起つてくる、霧の罩めた朝と夕方は

◆煙の見分けに苦しむ時である、煙と言へば經驗といふものは妙なもので普通の時、望樓から瞰下ろして居れば石炭を燻べる煙か薪の煙か藁を焚く煙か火事の煙かがその色なり、昇騰する勢などによつて直ちにそれと判斷される、併しながら困るのは風のある日で少し強い風になると煙を滅茶々々に散らしてしまう温突の煙などでも下の方ばかり匐つてゐるので殆んど見當がつかない、その反對に

◇風の無い日になると少し大きな煙は一直線に天に沖するので直ぐ判る、京城は一體に煙の多いのは温突のある故でもあらうが望樓監視にはそれ丈多くの努力を要するそれから暫らくすると市中の人が俄に動き出す、それは八時前後から市中の各官衙、會社銀行、學校商店等へ出る人の群れで九時過ぎまでの間は餌を求める蟻のやうに蠢めき出す、それから

◆十時十一時には極く靜かな平凡な狀態が續いて正午から一時に各工場の休憩始業の汽笛が響き渡る、それが一しきり過ぎると二時頃まで靜で三時頃から六時過にかけて非常に忙がしさうに活動を始める、それが終ると市中の其處此處に燈火が瞬いて華かな夜の景色となる、望樓の二十四時間は

◇夜晝の差別なく一瞬一刻も忽諸に出來ぬ代りにたとへそれが渺たる京城の天地丈にもせよ朝に遂に夜に移りゆく市の變態を一眸に收めて一たび災害の突發を知れば急を報じて事を未然に防ぐ望樓監視の任務は重いけれども亦愉快ではあるまいか（なほり）

□久邇宮第一王子御命名式

本月六日御誕生あらせられたる東久邇宮第一王子御命名式は十一日午前十一時同宮邸に於て御擧行盛厚王と御命名相成りたり（東京）

●大邱の大典寫眞

本社慶北支局主催にかゝる御即位式謹寫活動寫眞は豫想以上の好評にて十四日夜は一般の觀覽に供し十五、十六日晝間は軍隊、公立普通、壽昌普通、農業學校、高等普通の團體觀覽、夜間は一般觀覽と爲す豫定なり餘興撮影の如きも亦撰擇宜しきを得人氣盛んなり（大邱）

●地洋丸の船體引揚げの見込み無し

地洋丸船長以下一等運轉士機關長等天洋丸にて香港を引揚げ歸朝し遞信省よりの召電に依り十一日朝の列車にて東上したるが一行の談に依れば最早船として引揚げ見込無きも小浦丸は船內の器具其他を日々引揚げつゝあり鐵材として引揚ぐるも元價の四分の一位を得んかと（長崎）

◎總督府傭人運動會

總督府傭人春期運動會は十四日景福宮神武門外に於て開催の筈なりしも降雨の爲め豫定を變更し有樂館にて娛樂會を催したり

◎國有林の火事

去る三日午前八時頃慶北鎭安郡大德山西方麓の國有山より發火したるを折柄附近巡回中の山林監守が發見し早速里民を召集し消火に努めたる結果山林八百五十坪を燒失し同日午前十一時頃漸く鎭火したり發火の原因不明なるも同所には雜草繁茂せるより肥料を窃取せんため附近のものゝ入が放火したる形跡あり目下犯人嚴探中なりと

◎空家から窃盜

金澤市池田町生れ當時京城本町四丁目居大工職石井正次（二十）は四月三十日午後五時頃及び五月四日午後八時頃の二回に本町三丁目所在朴慶浩の所有空家に侵入し窓硝子十二枚（四圓二十錢）を拔き取り之を黃金町三丁目の古物屋鄭寅奎方に賣却せんとする所を本町署の巡査に取押へられたり

◎官舍に忍び入る

京城蓬萊町三丁目要化錫（二九）は四日午前十一時半頃大和町一丁目の某官舍に忍び入り置時計二個（三十八圓）を窃取し一個は光熙町なる質舖黃召史方に、一個は同町の質屋李正珏方に入質し本町署に引致さる

灯ともごろ

意地惡い此頃の天候は一年中の行樂の季に日曜を二度まで臺なしにして了つた▲十四日の日曜は本社發起の城壁廻りの外に京畿道警務部の消防演習、總督府傭人運動會、東亞煙草の職工運動會、同業朝鮮新聞主催の開城運動會▲それから何會社何組合の野遊會などへ來れば双手に餘る催し物が雨を冐して臨機の處置でやり終せたのは春なればこそ元氣は盛んなものだ▲城壁廻りに限らず京城附近に相當の歷史、由緒のある山や名勝が少くない一寸考へても南漢山、北漢山、冠岳、道峰、水落山、惠陰嶺など日歸りか一泊位で皆行かれる所ばかりだ▲出來る事なら同好の士を募つて京城山岳會とか探勝會とかいふものを組織し山野を跋渉して大に剛健の氣を養ひたいものだ

だいどころ　その日〳〵

◎鰹の餡掛け　鰹を厚目のさしみにつくり七片ぐらゐを一つにして竹の皮へのせて蒸します。蒸は宜汁へ煮きりを加へ醬油にて加減なしてそれに「こき葛」を加へ少し濃目にどろりと煉り、魚を皿へもりし上にこの葛餡をかけ生姜のしぼり汁をおとして勸める

◎暴風警報（五月十四日午前八時三十分發）

▲風雨強かる可し▲低氣壓の位置黃海の中部▲示度七百五十四粍▲進行方向東▲警戒區域南部

なんと良い香ですな―

金鶴香水　ツル香水

やッぱり　守田寶丹が一番よい！

時代と共に色々な淸凉劑が流行するので迷ふ人もあるが懷中藥としては品質本位の守田寶丹が一番よい

東京下谷區池ノ端仲町　本舖　守田治兵衛　振替東京二九八五番

消化と毒けし　仁丹

金言　沈默は眞理の母なり（ビーコンス）

一讀の時間を惜む勿れ

諸君の愛用せらるゝ久留米絣ハ是れ!!

紺色地質の堅牢は世既に定評あり日本藍専用の爲め染料暴騰の影響を受けす故に價格頗る低廉

久留米絣同業組合

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著

再版　改訂増補　朝鮮不動産登記　朝鮮商業登記　申請書式並心得

▲紙數四百八十頁　代價金壹圓郵税拾錢

本書中不動産登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動産登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を掲記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動産上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所　京城大平通　振替京城三〇〇　京城日報社

古きを守る　新しきを取る

始め　其の次ぎ　稍進むで　二千年前　今日

石鹸の進歩改良も亦この圖の如し

最も新しき最も良き石鹸は　エゴロン石鹸は

三越、白木、松屋其の他、洋品店小間物店、賣藥化粧品店にあり

エゴロンサボン　エゴロンクリーム　エゴロンパウダー本舖

東京丸の內　藤原商店化粧品部

薄く品柔軟で少も邪魔にならず而して完全に防汗が出來る

ゴム入、メリヤス製――日本ラバ商會謹製

◎ミツワ防汗帶

定價　大形金一圓　小形金八十錢

◎ミツワ防汗帶は、ゴムを中心として、特製の薄きメリヤスを以て、圖の如く作りたるものなるが故に、從來用ひ來りし、ヘチマの類にて作りたるもの又は蒸て窮屈なるものと異り、柔軟なる薄き布一重を纏ふのみなれば、着張り、強張り、窮屈等の感じ少しもなく、夏季の着物を召して、御帶を締めらるゝに少しも障礙にならず、着用に至つて便利なり。

◎ミツワ防汗帶を、肌着の間に着すれば、如何なる大暑の季節にても、決して汗の滲み出る憂ひなし。

▲夏季は自ら、それほどでも、思はめにミツワ防汗帶を一度用ふれば、防汗帶の内側に、滴るばかりの汗を含み居て。この汗が若し着物や帶に滲むかと思へば、假令すこし涼しき日にても、必ず自からミツワ防汗帶を用ふるに至るべし。

▲從來あせよけの類數多あれども、ヘチマにて作りたるものは誤りて、而かも帶を締むる障礙となり、防水布、その他にて製したるものは、多く窮屈、又は着張りにてあせよけを用ふ故に、却つて暑さを增し汗多く出る、普通のあせよけの缺點は、人も皆知る處なり。

◎ミツワ防汗帶は、薄く、柔軟にて防汗帶を用ふ感じなく、襦子、絽、明石等の夏服の御召物にも、少しも障礙にならず、汗は悉く防汗帶の内側に含み、決して表面へ滲み出る事なし。

◎ミツワ防汗帶は、幾數十回にても洗濯して使用する事を得、之を洗濯するには夜、淸水にてふり出し、竿にかけ置けば翌日の使用に差支へなし、また三四日毎に柔かきブラシにミツワ石鹸をつけて板の上にて靜かに擦で泡立せ、淸水にてふり出し陰干にすべし、但し洗ふ時に揉み又は日向に干さぬやうにすべし。

新案特許――純護謹製　大阪　宗田商店謹製

◎ミツワ水枕

定價　大形壹圓廿錢　中形壹圓　小形八十五錢

凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず

（特製鋭意圖）（大形鋭意圖）

◎ミツワ水枕は枕の內に間隙を設け中へ氷水を入ると自然に凹字形になるやうに製してありますから頭を冷す力は非常に完全であります。多年苦心の結果漸く案出したる極めて簡便にして且つ完全なるもので、病人にも御婦人にも御使用する事の出來る誠に理想的のものであります。

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥　ミツワ肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　◎丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目　藥劑、化粧品、石鹸、香粧品、小間物問屋

電信略號（◎ミヤ）　振替貯金口座東京七一〇番

賣捌――全國到る處のミツワ石鹸販賣店若し最寄に取次店なければ本舖へ直接注文あれ、郵便小爲替か振替口座にて送金あれば（內地は送料不要）郵送す、代金引換小包郵便にても宜し。東京市內は假令一個にても配達す。（市內は專用電話浪花四五〇番）

……ず子、早川賢、岡田さめ、長尾男卿、深見彦四郎、佐野楢男、植田はつ三郎、二百三十六名）

宮本武藏

第三十八回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

一體これが大藏院宮内と云ふ人が何賭勝負をするといふ譯ぢやアない、此方で金子と云ふ上方で銀主と云ふ者が附いて毎日〳〵試合に來ますに依つて一分取りなさい、貴方が勝てば私が二朱貰ひます、慾の世の中だによつて五十貫やるといつて玄關の看板に五十貫の鳥目を飾つて置けばこれに引懸つて來る者があつたら私と半分づゝにしませう、流石は大藏院宮内だから嫌だと云つて承知しない、宮内は名人方に交際を廣くしやうといふのに金錢を以て勝負をする

など〻は怪しからぬ、依つて嫌だといふ、其ぢやア宜しいといつて、今度は銀主が妻君へ進めた、それで御親造慾張つて居るから 妻「其ぢやア何處までも先生に知れない積りにして、しなさい妾が承知だから」といふので勝負は道場でする、賭の遣り取りは何處までも先生が知らない積りで玄關でやる、サア一分で以て五十貫取れるといふので五人も十人も來る、けれども誰一人勝つた者がない、それゆゑに道場が衰ろへて稽古に來る者はあるけれども賭の勝負に來る者はない、所へ瓢箪屋佐兵衛が來た 佐「ハイ今日は ○「瓢箪屋さんお入來なさい何んぢや 佐「私の處に泊つたお客さんが賭の勝負をしやうと仰ッしやる、私は案内をして來たのだ ○「それは能くお出た、併し又瓢箪屋さん、お前の處から何人も來やはつたか知れないが今まで勝つた者は一人もない、先づ瓢箪屋といふのを改めてヘボ屋とでもしたら宜からう、マア〳〵今日の一分もお貰ひ申したやうなものだ 佐「是まで來た先生は負けたから仕方がないが今日の先生は大名人だ、五十貫は五十貫で取つて仕舞つて貴樣の財産を潰してやらうと云ふのだ、あとの五十貫も用意して置きなさい」抔と言つて居る處へ金主目代は帳面を出して御名前を記しますからと言ふに宮本武藏先生は宮本武藏と云ふことは言はない、何故言はないかと云ふと長々旅をして難澁して一分持つて五十貫取りに來たんだらうと思はれるのが痛いから武藏先生宮田武助と名を變へられました、門人は帳面へ印して

門「御流儀は 武「流儀は卜傳流 門「お年は何歳で 武「三十二歳 門「御主人は 武「仔細あつて主人の名前は申されぬ、浪人者でござる 門「少々お待ち下さい」と待たせて置いて奥へ往つて取次をしやうとする、モウ大藏院宮内に勝たうと云ふ人は何處の誰と云つて大概極つて居る、それで宮内が是は叶はないと思ふと賭の勝負などをしない、先生御冗談仰つしやつては不叶ませぬ、此れは商人の戯れでありますと斯う云つて通常の勝負をして仕舞ふ、名前の知れない人へツポコ先生だと賭の勝負をする今武藏と云つたら賭の勝負はしなかつたらうが宮田武助なんど〻言はれたから知らない名前だ、知なければ都合が宜い、大藏院宮内が知ない位なら唯のヘッポコだ 門「先生斯う〳〵言つて參りましたが……大「宜から道場へ通せ」道場へ案内をする、宮本は道場へ入つて向ふを見ると、向ふに木劔薙刀槍長巻楯色々後方に立掛て道具が飾付てある所へ大藏院宮内立出て來たが、年齢四十五六歳身の丈六尺一寸もあらうといふ大兵肥滿の人物黒木綿の紋附きを著し小倉の袴を著けて立派な人物 大「お初にお目に掛りますが拙者は大藏院宮内でござる能くこそお尋ねになりました 武「手前は宮田武助と申します、豫て御高名を承はつてお尋ね申したいと心掛けて居りました、幸ひ今日此所に參りましたそこで二筋受ければ宜しいと云ふことでありますから木劔を二本持つて勝負を致しませう 大「宜しい、お支度をなさい」と宮内支度をする、武藏先生見て居たが 武「先生少しお待ちなすつて下さい、貴方のお持ちなすつた其の御弓は何分です 大「六分五厘 武「豫て先生は強弓の先生と承知致しました、六分や七分の弓で御對手をしても關東へ話の種になりませぬモソッと強弓を願ひたうござる」と一寸二分鈴詰りの強弓を望んで試合をする、茲に武藏先生腕前を現はすのは次回に……

五月十六日九星
舊四月十五日癸丑
本命八白艮戌赤口

▲八白 逆理屈の事有日新事見合 東方は吉昭鋼具▲九紫 好事續出の日轉居入學金件求職探鑛婚姻貿易旅行皆吉▲一白 律にあわぬ事有日新事手控舊事は吉小見病生水難注意▲二黒 みたなしに來る事有日新た手控舊事缺を補ゑるは吉▲三碧 氣に入らぬ事多き日 新事手控舊事は吉父爭ひ防がるべし▲四緑 張合ぬけのする事有日新事手控舊事は吉 婦人と約束を忌む▲五黄 親切を盡して敗財を招かんとす新事手控舊事土工は妨なし▲六白 正數日 轉居 行商入學 名弘 求職 棟上金件婚姻入札の事は皆吉▲七赤 思ふ事叶ひ 轉居開業入門 求職 金件 出漁 結婚土工請負 藥事皆吉 物に勝の日

皮徽科
皮膚病 徽毒 麻病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）
佐藤醫院（電話一七一三番）

花よりも まづ木村屋のパンの味
京城明治町木村屋 電話二八七〇番

入院隨意
京城南大門通三丁目（藤木商店横入る）
胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

愛らしき處女の囁き
（ニキビが取て急に美人となる）

オヤ〳〵磨きましたネ、アナタは私と同様ニキビでお困りでしたが今は痕跡もなくキレイに取れて色が大層白くホントに美人にお成ですネ一體ドウしたのですか『ハイ實は藥學得業士金澤巖氏のラスターと云ふ内服藥が大層良いと聞き早速用ひましたらコンナニ成りました元來顏面にニキビ吹出物オデキを生じ其他ドス黒く穢き斑點のある等は体内胃腸の變化より生ずる一種のトキシンに原因するものなれば内服藥にて治療するを正則とすラスターは此等の皮膚病に良効ある内服藥にして同時に胃腸を整へ身體を健全とす注文は三錢郵券十枚封入して東京下谷區上根岸町百十一番地金澤藥局へ申込む時は直に送藥すべし

家傳靈藥 ぢの藥
●痔疾一切 ●大重症之靈妙藥有 脱肛 ●痔瘻 ●等現狀の者 ●『ガ』の一書 家傳『キ』一で申込あれば病原理由自宅治療法の書冊進呈す
●東京京橋區疊町 小松 盛林堂
御買求の際は小松ぢの藥と指命乞ふ

胃腸病癌の妙藥 村井弦齋先生發見
タラコン湯
●藥價 一週分壹圓 二週分壹圓九拾錢 送料六錢 ●臺搾廿錢 朝支卅錢
タラコン散 價 十回分貳拾錢 二十八回分五拾錢 六十回分壹圓 送料貳錢
藥効確實、診療部開始
需用激增、製藥所新設
東京下谷區市ヶ坂町小石川番地廿 無量壽藥園 電話番町二〇〇二 東京振替一三一八四番

目病者の救濟
目病の人試よ
●主治効能 ▲トラホーム ▲ただれ目 ▲くもり目 ▲ち目 ▲はやり目 ▲のぼせ目 ▲しみず痛まず治るよくきく ●特色の目藥 まけません實に妙
いつてんすい 目藥 一点水 よくきく
玄みず 痛まず
●目に使ふ常に二三滴點眼せば視力を增す ●健康にも勝る 子供にも劣らず小兒目藥に最も可。小壜十錢用よ
總本舖東京京橋 タイガー商會 各藥店に有

紳士の賞用
天下唯一の家庭化粧料
ホーカー液
▼三越呉服店を初め全國到る處の呉服店、和洋小間物雜貨店、藥店に販賣す。
定價 ホーカー液 小瓶廿錢 中瓶四十錢 大瓶八十錢
▼紳士とホーカー液
朝夕の洗面後、入浴後にホーカー液の一、二滴をお用ひ遊ばせば、色を白く、艶をよくし、眞に男子らしき、自然の美相を發揮し、如何にも新時代の紳士たるに相應しい風采を快活なる容貌とを備へしめます、又ヒゲソリの前後にお用ひ遊ばせば顏の小皺を伸し剃刀マケの憂ひなく、焦を防ぎ使用後スベ〳〵として頗る快感を覺えます
ホーカー液本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

質
京城黄金町三丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所（電話六三九番）

七日ツケタラ鏡をどうらん色白くなるゲンソ液 小壜二十錢 徳用四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際ゲンソ液本舖 松本藥店

御園白粉
春から夏は水白粉御園の月の淡洒した薄化粧に限ります、顔色の蒼白い方などは淡紅色の品をお用ゐになると美しい櫻色になります。
日焦を完全に防ぐ御園ルチゲンは高橋博士の新發明品です、散策旅行の序是非一度御試を願ひます。
汗で化粧が崩れ又塵埃で汚れた時は御園紙白粉が一番です、手輕に化粧崩れを直し脂肪を取り決て肌の荒れないのが此品の特長てす。
本舖 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(108)

第三版

京城日報

十五日朝刊(夕刊と合せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 編輯局長三四五番 營業所長三二六番 一二四番 六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

調査に係る同府農家戸數は五十萬

▲時局の影響を蒙り著しく變調を呈せり卽ち土地所有者は五反步未滿は六十戸五反步以上は五十五[…]の數が減少し居れるは米安と諸物價の騰貴せる爲め農村の經濟狀態全く變調を呈し遂に困[…]資分散を爲せる等に因る

▲農家の轉業 更に之れを農[…]作農は經濟立ち行かざる爲め從來の田畑を賣却して或は小作農となり或[…]つゝあるかを證するに足る

▲疲弊の絕頂 尙耕地の狀況[…]場の敷地邸宅に編入さるゝに基く斯の如く國家の中堅たる向き中農が減[…]

戰局の觀察

京城日報

歐洲大戰に關し、日々吾人の手許に到來する、諸種の報道は、何れも斷片的電報に據り、漸く其の概要を索捕し、之を綜合判斷し、以て其の狀況を窺知するに過ぎず。而も之等斷片的報道も、其の大部分は、殆んど與國たる、聯合軍側よりの發表に係るものにして、換言すれば、吾人は本戰爭に對しては、遺憾ながら、片目、片耳的にて、大に隔靴搔痒の感を、禁ずる能はざる也。之れ洵に止を得ざる次第なりとは云へ、戰局觀察の上に於ては、頗る不滿足なる觀察なりと云はざるべからず。

試に回顧せよ、屢々顯著なる勝報を傳へたりし、彼のガリポリ半島に於ける、聯合軍作戰上の成績は如何。今に於て之れを考ふる時は、漫然與國の、表面的捷報のみに、謳歌空喜したる感なくんばあらず。英軍か充實を得て、將に大發展を試むべしと揚言しながら、尙ほ未だ依然として戰場は佛軍の活動にのみ委せ[…]ヴエルダン戰に於て、佛軍は頗る優勢にして、獨軍は始終不利の位置にありながら、ヴエルダン外防の最要地たる、三〇四高地は遂に獨軍の占領に歸したる等、數へ來れば、意外の結果を齎せし事、蓋し小々に非ざるべし。

吾人が、歐洲の大戰局を觀察するに當り、三千年來涵養し來りたる、我武士道的理想より、徐ろに觀じ來りなば、縱し敵國將卒の行動なればとて、彼等が其の祖國に對する、獻身的、盡忠報國の赤誠を披瀝し、克く鬼神をも咽ばしむるに足るの精華を發揮するものあらば、吾人は寧ろ取て以て、吾人修養硏鑽の資に供すべきは勿論、それを子弟に傳へて、相戒め、相勵むべき所ならずや。之れ吾人が、刻下の歐洲大戰亂を大觀して、其の是非善惡は彼我の別なく之れを公明に批評し、正大に論議し、仍て以て取り得べきは大に採らんとする處也。殊に戰場に現はれつゝある、諸種の出來事よりも、其の裏面に潜める、戰爭の齎せる事々物々が、物質的に、精神的に、如何なる結果を發露しつゝあるかは、特に吾人の愼重なる觀察を要する所なるべし。

吉林省の人參(上)

吉林省唯一の物產たる人參は其價格の高貴に產出亦豐富にして夙に內外に羨望されつゝあるも未だ外人にして實際に之れが栽培又は商取引きに從事せるものあるを聞かず近年唯僅かに三井物產によりて其一部分の商取引せらるゝあるに過ぎざるは實に斯產業發展の爲めに遺憾と謂ふ可し最近產地より其調査を終て歸奉したる某支那紳商の談に據れば吉林省人參には山參、移參、養參の三種あり山參は天然生にて價格高貴にして產額甚だ少なく移參は天然生の苗芽を移植せるものにて山參に比すれば產額多く養參は播種栽培せるものにて價格低廉なり現今一般に支那人參と稱して商取引せらるゝは則ち是なり而して其の販路は多く上海、北京、營口等を經由して各方面に商取引せられつゝあるも逐年價格の騰貴を告げつゝあり殊に其の產地の如きも吉林省南長白山北の森林地方にて就中撫松、樺甸、和龍三縣及び奉天省安圖、[…]南縣の如きは其栽培面積實に數[…]野に互り其收穫の如きも一畝地に乾燥品にて六包乃至八包(一包の價格百二三十兩)を得ること容易なれば將來極めて有望の事業たる可し(未完)

大阪財界便り

大阪支局にて SN生

○目下內地一般の金融は靜穩の狀態に在りと雖も月末に亙り拂込を徵せらるべき鐵債を初め茶及び繭絲資金の需要若くは六月納入の田租等資金の移動漸く繁忙ならんとする傾向なきにしもあらず市中金利も期近きものは軟調なれど雖も月越若くは季越ものは總じて强含の姿を呈せり然れども貿易は依然出超の順潮にて一月以降の出超は約五千七百餘萬圓に達し今後の出超を加へ本年は少くとも一億五千萬圓乃至二億圓を計上すべく其他兵器代金の受入若くは海運の收入等を加算し大約三億五千萬圓內外の受入を見るべく尤も在外公債の買却及び利拂等を控除するも二億圓を下らざる正貨の增殖を期待し得べく勢ひ內地資金は益々潤澤を加へざるべからず假令茲一兩月は眼先き小緊を呈せんかなれども下半期に於ける金融は著しく緩漫に陷り金利は更に低落の外なきを信せずんばあらざるなり

○貝釦製造業は時局後印度南洋方面へ輸出旺盛なる爲め大盛況を呈したるが近來輸出不振高瀨貝等の原料騰貴せるに拘らず市價暴落當業者中二三の破綻暴露より今後不振繼續せば尙多くの破綻者頻出するならん

○時局以來本邦護謨工業は長足の發展を示し各工場共非常に好況なるより自然工場の增設擴張並に組織變更等を要し最近各工場は其々其計畫を樹て既に實行したるは內外陸田兩護謨の工場增築ライオン護謨の擴張山根護謨の機械增設アレンケン中國兩社株式組織に變更し阪北護謨又生產增加に伴ひ其組織を變更する等頻出の狀態なるのみか尙未發表のものの少からざる模樣なり

○五月上旬の大阪港對朝鮮及支那移出入貿易は移出品價五十九萬二千九十圓移入品價五十萬六千八百七十六圓にて差引出超八萬五千二百十五圓を示し一月以降の超累計七十六萬五千十圓を算せり

○西部鐵道管理局に於ける發送貨物噸數は一日平均一萬七千噸內外なりしもの昨今二萬噸に達せんとする盛況を呈せるが近海運賃昂騰と船腹不足の結果從來は海運に依りし大貨物の陸運に依るの傾向顯著となり特に大連及び安東發大豆粕は運賃關係に基く採算上殆ど鮮鐵を經由して內地に輸送さるゝに至れりされど關釜連絡航路に於ける船腹にも亦一定の限度ありて一日五百六十噸內外を積取るに過ぎざるに此積取數量に超過せる爲め釜山に於ける豆粕の停滯は昨今三千噸を超ゆ荷主の苦情百出し鐵道當局は之れが當面の處置に窮し居れり尤も朝鮮鐵道にては安東に於ける出荷を制限し一方西管にては定期修繕の爲め入渠中なる新羅丸の修繕期日を早めて臨時運航に充つる等種々苦心中也

○更に九管よりの上り貨物も運賃關係の爲めこれまた非常に增加し一日二百車の到着を見る事あり假りに釜山の停滯貨物を首尾能く下關に輸送し得たりとするも下關驛は鮮滿及び九管の上り貨物堆積するに至るべく而も山陽線に於ける輸送力は一日千二三百噸なるを以て到底圓滿なる輸送をなし得ざるべし而して貨物停滯の徵は獨り山陽線に止まらず北海道の木材榑寸軸木等も船腹不足の結果鐵道輸送に依る事となり現に阪神地方の軸木は全部汽車便に依る事となり居れるが青函航路とても輸送力不足勝にて鐵道自ら出貨の激增に惱く有樣なりと

◎要するに昨今に於ける鐵道貨物の增加は一に海運賃昂騰の反映にして素より一時的現象ならんも海運界の恐慌一變せずば當分此の趨勢を更ためざるべく國鐵と鮮鐵とが輸送力を異にせるに拘らず進んで無二收入の增加を得んが爲めに運賃を割引して各種貨物を奪取せんとしたる結果今日貨物の大停滯を招致せるは自業自得といふの外無し(五月十一日記)

米國の共和黨

鐵骨生

○ウイルソン大統領選出前の米國に於ける共和黨は猶ほ昨年の總選擧前に於ける我が國の政友會の如し、政友會は明治三十三年故伊藤公によつて組織せられ常に政府黨として政權に近邇するもの十有七年漸次增大して一時は議會の絕對的過半數を有するに至りたるも今日は少數にて在野黨となりたるは亦猶ほ共和黨の前大統領選擧に失敗して政權を離れたるが如し。

○政友會の全盛を極めたるは過半數を頼んで流石の桂公をして屢ば妥協政略を繰り返へさしめたる時にあり、然かも政友會をして今日の如く少數黨たらしめたる敗因も亦實に此の時に萌芽す。

○共和黨の全盛を極めたるはルーズヴエルト氏を大統領に推戴して帝國主義を呼號したる時にありき、然かも共和黨が前回の大統領選擧に於て失敗を招き其の多年獨占せし白亞館を民主黨に明け渡さゞるを得ざるに至りたるも亦此の時に胚胎せり。

○共和黨が米國の政界に其の勢力を扶殖せるは決して一朝一夕の故にあらず、一千八百六十六年‖我が慶應二年‖南北戰以來の大統領中、獨りクレーヴランド氏の四年間‖千八百八十四年より同八十八年まで卽ち明治十七年より二十年まで‖を除くの外はグラント氏と云ひ、アーサー氏と云ひ、ハリソン氏と云ひ、マッキンレー氏と云ひ、ルーズヴエルト氏と云ひ、タフト氏と云ひ、孰れも共和黨選出大統領にてありき。

○故に共和黨の多年開拓せし地盤は廣大にして且つ堅實なるものにてありき、然るに前回に於て民主黨の爲めに脆くも敗衂を招きたるは政友會の如く政治的に失敗して民心を失ひたるにあらず、ルーズヴエルト氏が三たび大統領たらんと欲してタフト氏の向ふを張り候補者として出馬した爲めに共和黨が分裂して別に進步黨の旗幟を飜したるによる

○故に來る十一月の選擧に於ても若し共和進步一體とならず前轍を踏んでルーズヴエルト氏が候補者となり天下を三分するやうなことあらば中原の鹿或は再び民主黨の手に歸す可きことあらんも否らざる以上は勝利の月桂冠は遂に共和黨の物とならん

□花(三)

(第三回鮮短歌會詠草)

□ たそがれの散りゆく花の一言をものを言はねばさびしかりけり　京城 ひろし

□ 松の葉は濃綠ふかし散りてくる櫻の花の白かりしかな　京城 香水

□ 枯木にも藤はからみて咲きにけりかよわきものはいたましき哉　京城 文泉

□ さかしらにして酒にしたしむこと知らぬ淋しき男に散りかゝる花

□ 連翹の枝もたわゝに黃なる花淋しや雨にぬれて暮れける　京城 晴丘

□ 獨り居は只目を閉ぢて過さなむ花咲くもよし雨ふるもよし　同

□ 牛耳洞花の盛りを歸する人々と乘る電車香れり　同

□ いとほしや君見し日より咲き出でぬ君に似し花たんぽぽの花

□ 溪流のひとときに花のちりそめて青葉に惜しきゆく春の幸　同 都留子

京日詩壇

○送松田學鷗之白頭山　齋藤 三寅

得前記別欲斜陽。首見眉間意氣揚。行矣一鞭長白路。滿山藥草馬蹄香。

評曰、音節爽亮、殊壯行色、

一笑揮鞭向甲山、雄風夢影壓胡蠻。龍潭雲窟高吟後。正識氣頭歎句還。

評曰、筆勢縱來

○同 上　栗原 華陽

南北千程奈別離。回頭政驛意茫馳。朝朝消息從今少。翹復陽春行樂時。

翰墨風流處處新。官遊何處泥風塵。南船詩句滿囊處。北馬遙尋國境春。

評曰、意到筆隨

○同 上　安東 拳雲

牽衣戀戀問行蹤。一醉將離別話濃。垂柳橋邊人已去。白帆如鳥白雲封。

評曰、語婉而情遠

○議政府訪松田學鷗途上　安東 拳雲

車窓有酒灑胸肝。笑語聲中百憂寬。三月春風花未發。長峰一帶雪猶殘。

評曰、實境真寫、紀無彫飾

○同 上 歸來有作　齋藤 三寅

朝蹊議政見回龍。遊來廛裏對群農。今夕酒醒難結夢。夢懸雲外一聲鐘。

評曰、相思之情、隱躍在句中

▲マスター、オブアーツ 佐々木十九新著
四六版クロース製裝幀美麗 定價八拾錢 送料六錢
商賣繁昌の秘訣 無駄を省く法
毎月の經費がさうしてこんなに多い乎之れ丈け儲かる有りながら何故金が不足する乎之れが所謂研究を要する所日々營業上の無駄を省く秘訣實例百餘ケ條此一冊は百萬の資本より尊し新舊商店の別ちなく是非見ねばならぬ稀有の商店經營法なり
『實業界』主幹 井關十二郎先生序
▲工學士大熊市郎 中本正助 共著 定價六十錢 送料六錢
最新刊
忽ち九版 早く彈ける珠算の覺方
本書は如何なる初學者でも短期日の獨習で加減乘除步合算を初め實務に必要な計算法を一々例題を擧げて解り易く說明せる良著也
發兌 東京市神田錦町三の六 振替口座東京八七八七 平和出版社

國產 白檀油代用藥 ゴサルビン
發賣元 大阪市外中津町 三友製藥合名會社
大阪道修町 武田長兵衛
東京市本町 小西新兵衛

新聞記者養成機關 新聞講義錄
日本に始めて出來た新聞學の講義錄也 記者志望者の一大福音 第一回會員大募集
官長大木伯顧問本會賛助員及講師は一木內相、尾崎法相、高田文相、箕浦遞相を始め中央有力なる各新聞社の社長、主筆、編輯長、博士、學士等
◎新聞記者出身の各大臣 新聞記者には誰れでも成れる乎! 成れる! 僅か半歲(速成科が一年)(正科)の本會講義錄で誰でもなれる。來れ青年立身出世最近道
內容見本つき會則 郵券四錢にて申込次第進呈
東京牛込矢來町十一番地 大日本新聞學會 電話番町六〇二番 振替東京二六〇番

會員募集
和洋裁縫講義錄 五月一日開講
共立女子職業學校教師諸氏 其他諸大家執筆
▲和洋裁縫科 ▲洋服裁縫科 ▲古代服裁縫科 ▲和洋袋物科 ▲實用小物科 ▲おさいく物科
▲時々の流行 ▲服裝と裝飾法 ▲織物のお話 ▲洗濯の仕上法 ▲染色と色上法 ▲衣類の保存法 ▲手入さしみ扱 ▲お裁縫道具
御婦人の權威はお裁縫にあり本講義錄は裁縫術及び裁縫に關したる一切の新智識を傳授す遠く田舍に在つて良師に乏しき婦人又は身よし都會に在るも日進月步の今日新なる和洋服並に流行物等の裁縫を早く心得たき主婦令孃又は日々の教務に新なる教材を得たき思召ある裁縫教員殊に今次小學校を出で家庭の事情上高等女學校に進む能はざる子女に本講義錄をすゝむ
會費 一ケ月分 三ケ月分 六ケ月分 一ケ年分
入會規定 內容見本 無代進呈
入會申込所 東京日本橋 大倉書店 振替口座東京二三八
京城 大阪屋號書店 電話六八四 振替京城二〇七

六月號出來
幼年の友
珍畫美麗日本第一
▲本號には一つの繪が幾つにも變化する子供大喜びの新意匠あり
一冊十二錢郵稅五厘 半年分七冊八十錢
東京京橋南紺屋町 振替口座三一六番 實業之日本社

京城府告示第九號

京城府以外ニ於テ府金庫ヲシテ收納事務ヲ取扱ハシムヘキ場所及其ノ期間左ノ通定ム

大正五年五月十一日　朝鮮總督府府尹 金谷充

一 定時　京城府龍山出張所內　榮町

一 臨時(自五月十一日至八月十五日期間)　京城銀行內　本町二丁目

商陽地方金融組合構內　竹添町二丁目

京城學校組合告示第九號

京城學校組合以外ニ於テ學校組合金庫ヲシテ收納事務ヲ取扱ハシムヘキ場所及其ノ期間左ノ通定ム

大正五年五月十一日　朝鮮總督府府尹 金谷充

一 定時　京城府龍山出張所內　榮町

一 臨時(自五月十一日至八月十五日期間)　京城銀行內　本町二丁目

商陽地方金融組合構內　竹添町二丁目

小資本にて金儲け現る
新案登錄器械にて活動寫眞の興行が輕便に素人にも出來る他に比類なき金儲機械(壹百臺限り寄割引)委細說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町 振替東京一六六八八 大澤商會

京日案內
普通(一回前金三十錢無割引)(匿名一回毎に金五錢增)
番外(一回前金六十錢無割引)(匿名一回毎に金五錢增)
▼申込後中途撤廢中止の節は料金返戾せず

普通
◎鑛山監督に經驗あり同事業家に雇はれたし御入用の方は電話千三百六十番へ御報次第本人參上仕候 446
▲尺八と明笛▼初步にも容易に出來る 京都特製品は京城勢山樂器店にて御求めあれ 445
▲代診採用 希望者は履歷書送れ 平壤泉町 齋藤病院 443
◎各宗教經本類 全部取揃へ有之候 ▲振替京城二〇二三 本町二電二五七 ヒツボヤ書店 158
◎預けたし 本年三月生の男兒乳の澤山ある方に預けたし 本町一丁目三 參電二六三六 大正社 442

◎諸病院又は患家の御需めに應ず ▲京釜看護婦會 旭町一丁目一 電話二八六三 171
◎代診生に被雇たし小兒科內科に經驗あり田舍にても差支なし 京城櫻井町一の四九 富田鶴吉內 島本豐彥 440
▲見習看護婦入用身元引受人を要す 京城本町三丁目壽座南隣 伊藤耳鼻咽喉科醫院 438
古本無比高價買入勉强是非御試驗を乞ふ御報即刻參上 京城本町四 電話二七八一番 書肆 群書堂 199
但馬特產柳行李並に古本賣買所 右今般新規開店特別大勉强 京城本町三丁目 但馬屋號 北村商店 428
旅館讓受たし 京城旭町三丁目 山崎 電話一七九七番 176
番外
▲盛花 鉢 新荷著仕候 京城南大門通五 電話三三四六 樋口製造所支店 444
恩給年金類立替 京城本町二(京城銀行橫小路) 吉田屋 437
質 開業 完全なる倉庫あり何品にても懇切迅速に取扱申候 明治町二丁目五四(交番所東小路) 片山質舖 155
電話開通 一四六二 ◎ロクロ細工專業 ◎建築くり物 ◎諸車ロクロ製 ◎上山ロクロヤ 京城永樂町二丁目(洪門通)(電略カミ) 402
看護婦募集 但し調劑の經驗ある者 年齡廿五歲以下市內に確實なる保證人を要す希望者履歷書携帶午後來談 京城壽町 岡崎病院 130
皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一 商品陳列館坂の上 電話二一〇二番 190
株 有利にして確實なる現株賣物あり ◎公債株 ◎現物問屋 京城本町二 電話九九三 田中友吉商店 401
礦物定量分析 京城太平通 電話二三二五 坂元分析所 416
家傳 りん病三日藥 輕症三日全治 服んで即日効驗ある不思議の妙藥 京城明治町二丁目四二 明治旅館事務 朝鮮發賣元(電二〇三五) 木村ケイ 207
重石水鉛買入 京城瑞麟洞 光化門郵便局(橫川端) 電話四八六番 大菱商行 108
▲萬衣裳貸物所 本町五丁目電車終點 電話二千八百六番 べにや 120
年金 恩給退隱料で金融希望者へ低利輕便に數年分卽時立替 其他諸公債券に對し低利擔保貸金 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 本店 江州屋 148
恩給年金類 長期低利 短期保險不要 立換 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外(舊御成町) 山口屋 130
妊婦產婦 御預 ▲經費僅少出產安全 申込次第入院規則書送 京城產養院 南山町二の卅五 電話取次一三三九 419
ルーデサック A十個四十錢 B十個六十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 以上一割引外に要送料郵券代用 割增 京城黃金町三 山田文殊堂藥房 425
◎產婆 マッサージ 南山町三丁目消防詰所前に轉居 電話一四四〇番 三浦小糸 427
魔法瓶中瓶取替 ゴム引マント 防水カッパ 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 166

◎[…]西二面三山里鄭基石(三二)は本年四月[…]全羅南道井邑郡[…]石川中島兩刑事に捕はれ五月十一日仁川支廳檢事局に送られたり

◎兌換停止と計畫
政府極力人心の動搖防止に努む

兌換停止と共に政府は市況維持及び取引銀行に對し貸出利息の値下げ預金利子の値上げ國內爲替料免除諸銀貨銅貨の多數發行を命じ之れが爲め天津造幣所にて鑄造を行ひ政府自ら資金を投じて救濟局を設け食料品の騰貴を防止せんと圖り極力動搖防止に努め居れるが効果を擧ぐるは困難ならん(北京特電)

◎取付と官憲の苦心
警察廳長の鎭壓＝取引中止の姿

交通銀行取付に關し十一日夜巡按使は地方官、商務總會役員、銀行關係者を召集し協議の結果天津發行の分は兌換し他省發行の分は兌換せざる事に決し一面警察廳長、縣知事等の連名を以て此際兌換を申し出でざる樣告示したるも十二日午前十時頃迄には銀行に押寄する者數百名の多きに達したるに依り警察廳長自身出張して說諭したるも群衆は更に之を肯かず門を排して侵入せんとするより警察廳長は巡警を指揮して威嚇的鎭壓に努めし爲め漸く事なきを得たり而して內外店舖は兩銀行紙幣を受け取らざる爲め十二日朝來商業上多大の影響を及ぼし取引殆んど中止の姿を呈したり(天津總領事發電)

◎外交總長辭表提出

外交總長陸徵祥は既に辭表を提出したるが後任者としては陸宗輿の說あれども曹汝霖なるべしとの說有力なり(北京特電)

◎日置公使の對支警告

日置公使は滿蒙暴動問題に就き支那の抗議に對する回答に關し數日前我が外務省よりの訓電に接したるを以て十二日外交部秘書を公使館に招致し支那側の報道が全く事實に非ざる事を說明し山東に於ける日本側の行動に就きては勿論充分取締るに付き支那側も宜しく取締るべしと警告せり(北京特電)

◎總督歸京

寺內總督は宇佐美內務部長官古海警務總長白水參謀長森武官大藤副官藤波通譯官其他一行を從へ自動車にて十四日午後二時公州を出發し歸京の途に就けり忠淸南道よりは小原長官等見送の爲め隨行し三時半小井里に著直ちに臨時列車にて出發成歡驛にて小原長官等下車し同驛まで出迎へたる松永京畿道長官隈部警務部長等乘車し各驛に於て官民の出迎を受け五時五十五分南大門著歸京したり

▲南大門驛出迎

南鮮地方巡視中なりし寺內總督は豫定の如く忠淸南北並に慶尙北道管內に於ける主要地の視察を了へ、十四日午後五時五十五分南大門驛著臨時列車にて無事歸京したり、同驛には李王家御名代をはじめ、主なる朝鮮貴族、石塚、荒井、國分の各長官、兒玉局長並に總督府內高等官、大屋鐵道局長、官以下所屬官署長官、課長、關長官、小宮次官、國分事務官以下李王職主要職員、軍並に師團の主なる將校、山形大佐、具警務官以下警務總監部主要職員、吉原東拓總裁、勝田鮮銀總裁、野田東拓副總裁、林、井上兩理事其他官民有志數十名の出迎へあり、驛前人車、馬車自動車を以て埋められ列車定時に著するや總督は宇佐美長官、古海警務總長、白水軍參謀長、森武官、大藤副官等の隨行員並に松永道長官等の途中出迎者と共に下車、毫も疲勞の色なく一同に對し其れ〳〵歸著の挨拶をなし、森武官、大藤副官の陪乘にて馬車を驅り大平町通りを經て官邸に入れり

◎日露電信良好
東京浦鹽間約一時間

日露連絡電信たる京城經由浦鹽日本間に於ける電報の發著は大正三年十二月開始以來漸次好良の成績を擧げつゝあるが今母國露西亞間電信の朝鮮に於ける經過時間を見るに開始當時の大正三年十二月は京城より浦鹽迄に元山淸津の二中繼局ありたる爲め一通平均五時間十九分を要せしが四年二月元山淸津間を自動機二重通信に改善したれば其後一通經過時間平均二時間四十一分となり更に大正四年七月元山郵便局の中繼を廢し京城淸津間直通とし一時間四分に短縮し本年一月より淸津局中繼を全廢し京浦直通とせしに付鮮內經過時分僅々四十二分に過ぎざるに至り東京浦鹽間にて一時間內外を費すに過ぎざるに至れり尙ほ露國より朝鮮經由母國に到る電報は其の露國に於ける所要時間比較的長き如しと

◎輪羅鐵道實測

師團常設に依りて其の敷設を急速せしむる事となりたる輪城羅南間の鐵道線路實測は本月十日より羅南を基點として著手する事となり測量班梁川主任以下數名の技術員は既に發向せり而して該線路は明年度淸會線が全通すると同時に開通する運に至るべしと(淸津)

◎豆滿江材と三井

三井物產會社が本年より營林廠伐木材の全部を引受け販賣する事となりたる結果豆滿江材は會寧に於て製材搬出する事となりたるが淸會鐵道の開通迄は取敢へず茂營林廠製造機を買取り會寧陸軍官舍建築用材の供給を爲す事となり同社員は既に會寧に出張し製材工場を建設して製材著手の運びに至りたるが目下の處同製材機は石油發動機にして馬力弱く到底多額の製材に堪ふる能はざるを以て漸次改良して製材の搬出鐵路に依り得る曉には一大製材所たらしむべき計畫なりと(淸津)

◎水利事業勃興の機運
既設組合數と認可申請中の水利事業＝組合總區域と干潟地の開墾＝今後の組合數と蒙利面積＝

▲經濟界の發展 は水利事業勃興の機運を促進し、近時各地に於て之れが起業經營を見るに至れるは農產業の開發上洵に喜ぶ可き現象にして昨年末現計に依る既設組合數は既に十餘個所、其の蒙利面積一萬八千町步を算せるのみならず、現に組合設置の出願に係るもの亦十數個所に達し、組合總面積二萬町步を越ゆるの狀況に在り、今其の槪況を叙述せんに、大正三年十月末を以て許可されたる大正水利組合は既に資金調達の途を得て事務所を龍巖浦に設け目下盛に工事中なり、本組合區域は平安北道龍川郡府羅面外四面に亙り

▲百五十萬圓 の巨資を投じて三千五百町步の干潟地を開墾し併せて三千五百町步の既設畓に對して完全なる灌漑の途を開かんとするものにして明年度中には全工事の竣成を見る可く、又本年六月を以て完成を告ぐ可き慶尙北道迎日水利組合は目下工程九分以上に達し、其蒙利面積既に數百町步に達せるが全部竣工の曉に於ては總計一千二百町步の美田を得る豫定なり、而して全羅北道に在りては沃溝西部、臨益、臨益南部、全益、臨沃等既設諸水利組合の外新に

◎移民割當土地
合計五千二百五十町

東洋拓殖會社にて第一回移民より今春移住せし第六回農業移民まで二千九百四十三戶に對し割當てたる水田は總面積四千六百八十一町一反五畝步畑地五百七十町三反八畝廿一步合計五千二百五十一町五反七畝步なるが其の地價は約二百五十萬圓に上り居れりと

◎月末決濟の其後
龍頭蛇尾に終らんとす

京城の實業家は曩に會合を爲して賣代金の月末決濟を斷行すべしと唱へ檄を飛し或は京城商業會議所に建議して其贊同を求め一般の實業家も亦頗る機宜の處置なりとして決議發表の當座は其斷行に勗めたるも其後未だ半箇年を經過せざるに早くも雲散霧消して又しても所謂御都合次第の決濟を行ふに至りたり事茲に至りしに就ては心ある二三有力なる實業家中には折角の企なれば徹頭徹尾之を斷行して商人の取引關係を著實圓滿ならしめんとする者あれども大勢は遂に如何ともすべからず有耶無耶の裡に葬られんとしつゝあり顧客と商人又は商人相互の間に於ける僅少の情實に執著して取引の改善を行ひ得ざる不甲斐なさは今更なれど何んとか糾纏の方法はなきものにやと云ふ者ありて最近同志を糾合して一應協議を爲したる上更めて何等かの方法を講せざるべからずと顧慮し居れり併しながら百の計畫も商人各個人の自發に依らずでは到底其効を收む可くもあらず此點に關しては或は町總代の手を通じるか特に商人の集會を求むるかの方法を取り樽俎接衝の間に事を決したしと云へり半季決算期も間近き際なれば何れは一問題として研究さるゝに至るべし

▲古阜水利工事 の計畫成り

五月一日附を以つて其の認可を得たる事は既記の如し、本工事は年々旱水害を絕たざる東津江支流の沿岸約四千町步の耕地を整理せんとするものにして成功の上は優に三千餘町步の美田を得べく、此他既設組合には尙ほ忠淸南道に馬九坪水利組合あり、慶尙南道に密陽、金海兩水利組合あり、馬九坪は忠南連山郡夫人處、赤寺谷兩面に亙りて二百七十餘町步の蒙利面積を有するに過ぎざるも、密陽は府內面鶴谷洞及び南面鷺林洞より金洞に至る一帶の地六百三十餘町步を組合內とし、金海は金海郡活川面、鶴洛面、左部面、右部面及七山面に亙りて一千七百町步の

▲大蒙利面積 を占め孰れも極て良好の成績を擧げつゝあるのみならず慶南管內にては更に上南、大渚二水利組合の計畫成り、目下當局に對して認可の申請中なり、前者は附近二百六十町步、後者は一千二百町步に亙る水利工事にして認可の曉には直ちに起工の筈なり、此外未だ出願の運びに至らざるも現に計畫著手の準備中に屬するもの、或は認可申請の準備中に屬するもの等亦尠からず、此情勢にして推移せば此年ならずして隨所に此種の組合を見るに至る可く、其蒙利面積の如きも十萬町步を越ゆるの日は敢て遠き將來にあらざる可し

◎京城內地間の電報

京城郵便局を中心とし內地及び滿洲方面に於ける電線の一日平均電報取扱通數を開くに京城下關線最も多く一千三百零六通第二は京城大阪線にて一千二百六十四通第三位は京城奉天線一千二百十一通東京京城線は最下位にあり八百零八通の順なるが東京線經由電報は平均七香信の長文にて字數に於て遠く各線を凌ぎ亦奉天線は發著約四百通に過ぎず多くは中繼なる由

◎京木道路工事

京城木浦間一等國道に屬する忠淸南道管內論山郡の橋梁暗渠等の工作物工事は八千圓の工費にて今春來土木局京城出張所監督の下に施工中なるが六月中旬竣工の筈尙ほ土工は賦役を課して行ふ由

◎家庭工業獎勵答案

京城商業會議所にて募集中なる家庭工業獎勵案に就ては其後鮮內地或は滿洲地方等より答案を寄せ來るもの約七通あり何れも皆相當の調査を遂げたる結果の答案なれども只憾らくは調査簡單にして實行上至難の點尠しとせざるものあり未だ締切迄には約五十日の時日を有すれば引續き有力なる答案の提出を見るに至る可き見込充分ありと

◎工藤課長歸任

臺灣勸業共進會並に植民地施政視察の爲め渡臺中なりし土地調查局調理課長工藤壯平氏は十三日夜南大門驛汽車にて歸任したり

◎小學校教員家族會

京城府內の各小學校職員一同は來る二十一日西大門敎育俱樂部に於て家族會を開き各校職員の家族を招待して親睦の會合を爲す可しと

人事消息

▲吉原東拓總裁 十五日午後七時十五分南大門驛發東上の著

▲菅原傳之助氏(代議士) 十四日夜入京山本旅館へ

▲泉本吉氏(鮮銀群山出張所長) 同上

▲仙波正太郞氏(鮮銀大邱出張所長) 同上

▲掛井先治氏(鮮銀大阪支店長) 十四日夜入京不知火旅館へ

▲松山義雄氏(鮮銀木浦出張所長) 同上

▲矢野久三郞氏(釜山稅關長) 十四日夜入京加尾旅館へ

▲野手耐氏(鎭南浦稅關長) 十四日夜入京不知火旅館へ

▲池邊稻生氏(元山土木技師) 入京中の處十四日夜退京

▲太田三郞氏(鮮銀大連支店長) 十四日夜入京朝鮮ホテルへ

■南言北語■

支那革命の巨頭黃興は東京溜池頭で十八番の雲隱れの術を行つて姿を消した▲一說に逗子の上泉將軍邸に這入つたとも傳へられて居る▲上泉將軍と云へば以前鎭海灣の司令官をして居た人で朝鮮でも大分名の知れた人だ▲而して將軍と黃興とには面白い話がある▲或る時陸海軍外務の若手連中の宴會があつた際▲將軍と加藤寬治大佐が隣合つて居た▲種々の話から支那革命談に入ると將軍は黃興を賢者だと擧げて孫文を優柔だと罵つた▲孫文贔負の加藤大佐は其れを聞くとクワツと怒つて一切夢中であつたが▲フト見ると最う他の連中は一人も居ず廣い座敷には加藤大佐と將軍のみで一人は兀然呆れ顏で二人を眺めて居た▲流石の兩人も聊かきまり惡く此の上は戶外でやらうと空車を從へ步きながら道々喧嘩を續け遂に日比谷公園に來ると▲議論ぢや埒が明かぬ力で雌雄を決しようと云ひ出した▲其處で圖書館側の草原でトツ組み合ひを始めた▲醉漢同士の腕力沙汰だから却々容易に勝負がつかぬ▲此の時迄神妙に從て居た車夫の兩人が▲旦那最う夜が明けますから宜い加減になさい、と泣聲を出した▲而うかでは近い中に又た遣り直さうと兩人は別れた相な▲何方も何方だが其の大負の黃興が來たのだから大喜びだらう▲殊に三百萬圓の頭を捧げて下來たから此頃は將軍本氣になつても置かぬ事だらう一層支那へ乘出したら面白いのに……

◻城壁巡り
大塊

古壁蘚々人や群れ〳〵青葉蔭　虎耳

先著の人に人群る若葉かな　無佛

石棧死生一轉通。青松古壘白雪中。草鞋衝雨誇餘勇。漫與健兒欲競雄。　陳人

◉奉天より

▲張督軍の南東北京政府に[illegible]

地の動靜如何を張奉天將軍に總諮したる處張將軍は東邊の亂は桓仁の小[illegible]

へる如く現下自派自黨に屬せざる各縣知事を南方に關係ありとの名の[illegible]

れが自己の勢力を全省に擴張するの手段は仲々辛辣巧慧なりと謂ふ可し

▲二十七師長後任 張作霖[illegible]鐵嶺駐紮百五旅長張祥五氏を昇任するに決したり。

▲南北調話と蒙王 內外蒙西藏王公世爵、貝勒、貝子、札薩克乙等大多數より成る聯合會議の名を以て右の旨を南軍に電告し以て南北[illegible]

時は採金局より許可證を得て後調査を開始し採金局よりは軍警を派して其保護に任じ且保而の發先權を與ふ

(一七)の兩名は共謀し四月十二日以降二村洞鐵道工場に前後三回侵入して鐵材十二貫(價格四十五圓)を窃取し

勵李元一(三四)は昨年十二月六日午後一時頃龍山停車場北方ガード內にて鐵道局より拂下げたる古服を蒲盛し

公告
京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス入札保證金ハ各自申出額ノ十分ノ一トス

●京城府黃金町壹丁目百八拾番地
一垈百武拾八坪
最低競賣價額金四千四百八拾圓也 (一)
右地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪武拾六坪七合七勺
最低競賣價額金壹百七拾六圓也 (二)
同所在
木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪武拾五坪五勺
最低競賣價額金壹百七拾圓也 (三)
同所在
木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪六坪
最低競賣價額金參拾圓也 (四)
●京城府黃金町壹丁目百八拾壹番地
一垈六百四拾五坪
最低競賣價額金九千參百五拾武圓也 (五)
右地上ニ建設
木造瓦及洋鐵葺平家建本家壹棟
此建坪四拾八坪九合武勺 (六)
內譯
瓦葺四拾參坪六合四勺
洋鐵葺五坪武合八勺
附屬木造瓦及洋鐵葺平家建壹棟
此建坪六拾八坪九合 (七)
內譯
瓦葺五拾四坪九合四勺
洋鐵葺拾參坪九合六勺
附屬木造瓦及洋鐵葺平家建壹棟
此建坪武拾九坪壹合 (八)
附屬煉瓦造洋瓦葺[illegible] (九)
外附屬[illegible]
此附屬木造瓦葺平家建壹棟 (壹〇)
此附屬木造瓦葺平家建壹棟 (壹壹)
此附屬木造瓦葺平家建壹棟 (壹武)
右
最低競賣價額金[illegible]
不動產所有者 京城府部染洞六拾七番地 李鳳來
競賣申立人 東京建物株式會社

●京城府[illegible]
一垈[illegible]
最低競賣價額金五拾圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪壹合
最低競賣價額金[illegible]
右
不動產所有者 [illegible] 林鶴周
競賣申立人 [illegible]

●京城府[illegible]
一垈參拾九坪
最低競賣價額金[illegible]
右
不動產所有者 [illegible] 李鳳來
競賣申立人 [illegible] 朴慶浩

●京城府武拾[illegible]
一垈七拾坪
最低競賣價額金七拾圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪九坪參合
最低競賣價額金壹百武拾參圓也
右
不動產所有者 京城府[illegible]洞百拾參番地 朴慶浩
競賣申立人 [illegible]

●京城府六拾九坪
一垈[illegible]
最低競賣價額金五拾圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪五合
最低競賣價額金武拾五才
右
不動產所有者 [illegible]洞五拾壹番地 李鼎善
競賣申立人 岩間元二郎

●京城府九拾坪
一垈參拾[illegible]
最低競賣價額金四拾四圓六拾錢也
右地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾六坪五合
最低競賣價額金[illegible]
附屬木造草葺平家建倉庫壹棟
此建坪七坪六合
最低競賣價額金八百武拾參圓五拾錢也
以上競賣期日 大正五年五月拾八日午前拾時
京城府[illegible]洞拾參番地
競賣申立人 京城食糧品市場
不動產所有者 尹錫和

●京城府太平通武丁目百八拾參番地
一垈參拾七坪
最低競賣價額金參百圓也
●京城府社稷洞百武拾番地
一垈百八拾武坪
最低競賣價額金武百五拾五圓也
右
不動產所有者 京城府忠信洞百六拾八番地 松本良藏
競賣申立人 釘本藤次郞

●京城府參拾[illegible]
一垈[illegible]
最低競賣價額金五拾六圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪武拾八坪八合
最低競賣價額金參拾八圓也
右
不動產所有者 京城府[illegible]洞七拾八番地 李昌善
競賣申立人 李致壹

●京城府[illegible]
木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪拾六坪七合
附屬木造瓦葺平家建壹棟
建坪參拾壹坪
最低競賣價額金百參拾七圓也
右
不動產所有者 京城府[illegible]
競賣申立人 [illegible]

●始興郡北面永登浦里八拾壹番地
木造草葺平家建本家壹棟
建坪四坪
右
不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 京城隆興株式會社 李明薰

●高陽郡龍江面東幕下契五拾五番地
一垈拾九坪
最低競賣價額金參拾五圓也
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪拾參坪
最低競賣價額金七圓六拾錢也
右
不動產所有者 [illegible] 鄭寬永
競賣申立人 [illegible] 金喆

●京城府[illegible]
一垈[illegible]
最低競賣價額金九百八拾七圓也
右
不動產所有者 京城府[illegible]町參丁目 伊藤友松
競賣申立人 樋口仙藏

以上競賣期日 明治[illegible]
●京城府[illegible]
一垈六拾坪
最低競賣價額金九百八拾七圓也
右
不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 [illegible]

●京城府武拾[illegible]
一垈[illegible]
最低競賣價額金[illegible]
右地上ニ建設
木造[illegible]
右
不動產所有者 京城府漢江通拾壹番地ノ內五四壹 馬富屋
競賣申立人 [illegible]

●京城府五拾五番地
一垈七拾參坪
最低競賣價額金百六拾五圓也
右地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家壹棟
附屬木造丹葺平家建物壹棟
最低競賣價額金四百武拾圓也
右
不動產所有者 京城府黃金町五丁目 上石キヨ
競賣申立人 橋本米人

●高陽郡恩平面[illegible]
一畑壹千七百坪
最低競賣價額金[illegible]
同所
一宅地四拾七坪
最低競賣價額金壹圓拾五錢也
同所在
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪
最低競賣價額金[illegible]
右
不動產所有者 [illegible] 閔泳璘
競賣申立人 戶田長次

●京城府[illegible]
一垈五拾五坪
最低競賣價額金[illegible]
右地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家壹棟
附屬木造草葺平家建壹棟
最低競賣價額金[illegible]
右
不動產所有者 京城府[illegible]洞四拾九番地 黃聖光
競賣申立人 金[illegible]

●京城府[illegible]
一垈[illegible]
最低競賣價額金百四拾圓也
右地上ニ建設
[illegible]

●京城府[illegible]
一田六拾參坪
最低競賣價額金拾八圓
右
不動產所有者 京城府[illegible]洞九拾四番地
競賣申立人 京城隆興株式會社 李明薰

●京城府[illegible]
一垈四拾八坪
最低競賣價額金[illegible]
右地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪
最低競賣價額金百拾圓也
右
不動產所有者 [illegible] 林在德
競賣申立人 趙鍾錫

●京城府[illegible]
一田八百參拾三坪
最低競賣價額金拾圓也
右
不動產所有者 [illegible]
競賣申立人 京城隆興株式會社 李明薰
以上競賣期日 大正五年五月武拾五日午前拾時

購買入札
一白米 二百五十石
右購買ス詳細ハ大正五年五月十五日
以後ノ本府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

タングステン
用手廻搗鑛機及大マグネツト中根式
鑛山機械は始政五週年記念物產共進
會に於て賞牌一復狀三を授與され
知る唯一の鐵工界に於ける最初の受賞
名たるの光榮を得
京城南大門通五
電話一〇四番
中根商會

御洋服羅紗問屋
目品
絨綿布製品
厚司工服各種
メリヤス類
縮シャツ類
手巾
手拭タオル
洋傘信玄袋
仁川本町 京阪洋行 嶽野禎助商店

各石灰、セメント、煉瓦、色土、色砂、青竹、布海苔、學苆、支那廐
其他左官材料一式販賣商
龍山漢江通り十三番地
戶張商店
電話五三四番
振替京城三五一三番
京城本町二丁目競賣會社隣
戶張販賣所

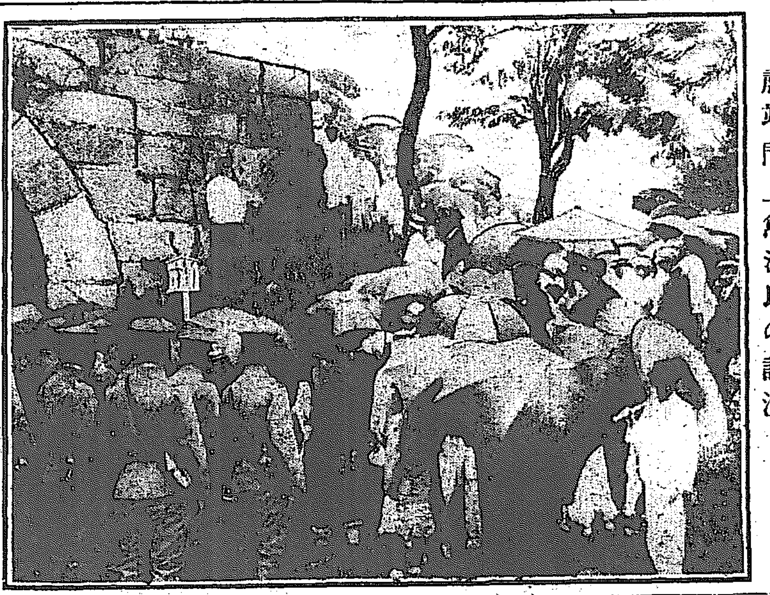
新刊書御案內
書名 著者 定價
◎鐵筋混凝土工學 岡部美爾志 二、五〇
◎實驗和洋梨栽培法 二、三〇
◎禪と日常生活 一、三〇
◎階界珍聞錄 八〇
◎歌の作り方 金子薰園 四五
◎黑田如水傳 四八
◎曲手ほどき
◎人及び女として
◎東京紅燈集
◎紅櫻夢
◎駒のいなゝき
◎經世情話
◎紅燈ロマンス
◎手紙風呂
◎仇情
◎八の馬
◎日本征服
◎重要問題解答
◎青年興村の指針
◎義勇團
◎折密茶話

大阪屋號書店
京城本町 電話二〇八六 振替京城三一三番

…も獨立旗を翻へし終に時局收拾の大擧を誤らん事を惶恐して奉天省內各…なり委細は後陳す可き旨を直ちに發電したる由　張將軍は此渦中に立…ふ者にて相當の理由あれば北京政府も之れを反對し能はざる可く斯く彼…だ多きも張氏は自家勢力維持上の大問題なる爲め頗る其人選を難せしが…後に改選を行ふを國家の利益となすことに議論一決し哲海、西北路回部、…採金局は採金辦法に就き私に採掘するを禁止する事若し金鑛を發見する…

◎鎔造工場が…目擬換に依る合資工…　金昌龍（一七）龍山元町三丁目朴文園…

◎賍品を隱匿す　龍山錦町勞…一方は入質したる處から足がつきて遂に龍山分隊に檢擧せらる


肅靖門上魚潭氏の講演

◎城壁廻りの記
雨に洗はれたる　新綠の京城
春風秋雨李朝五百年の北門　一行元氣旺盛、春雨を冒して
―漢陽公園にて乙記者―

ザア〳〵ザア〳〵と長い若松の翠にそゝぐ雨の音を聽きながら李朝五百年の雨に古りにし北門（彰義門）に起つて居ると高い白岳の岩石をかすめて青鷺の群がのつそ〳〵と飛んで行く、なるほど此處らあたりは朧ろや青鷺の通り路と見ゆる、時計は十時に二十分前、モウそろ〳〵來さうなもんだと樓門の上から西方仁旺山上の城壁を見て居るとかすかに遠き絶巓から「ピーロ〳〵ピーロ〳〵!!」と

▼朝鮮喇叭の音

が聽ゑて來る、と見れば白雲の過ぎる絶巓からは白い人影が動き出す黑い人影が動き出す、續いてまた洋傘の行列が降りてる「ピーロピーロ!!」はだん〳〵近いて來る「高い處へ登つたもんだなあ!!」とあたりの人が感心してる間に折から雨を衝いて暢氣な「アラランの唄」が聽ゑ出した斯くていよ〳〵がや〳〵といふ人聲が近づいて來るとひよつこり松林の間に社旗を持つた人と二三の社員が濡れ鼠のやうになつて現はれて來た、行旅の團員は何れも元氣な青年者が多く其他紳士もあれば中學生あり小學生あり小僧さんあり殊に大きな麥稈帽に水高双眼鏡を十文字に掛けた大塚常三郎氏もあれば猶ほまたカアキ服の兵隊さんも多かつた「これから愈よ白岳の險だぞ」と雨に濡れた岩山を仰ぐ人の眉間には

球なす汗のしづくと雨滴の球と

が浮んで居たが「モウ一息だ登れ〳〵」とばかり行列はまた高い城壁を登り出す、と見れば脚下は深い石坡亭の溪谷、北の方三角山の岩山には白い雨をふくむだ風がさつと過ぎる「痛快だなあ〳〵!!」と頭の上の中學生が大きな聲を出す、路はなか〳〵に嶮峻で先頭の人の草鞋が額の上に動く、見渡せば「北の夷は幾百萬でも來よ」と許り城壁の丈けは愈よ高く松のしづくはいよ〳〵滋くなる、斯くてわれ〳〵行列の中堅が白岳の絶巓に著いたのは彼是れ午前十一時十五分、絶頂から見た北漢山は遥かにまた北方に逃げ去つて居る、「ホウ偉い所へ行ごるわ!!」と大阪出身らしい兵隊さんの叫び聲に遥か向ふを見れば又復高い城壁がある、城壁は特に望樓として築かれたものが殊更に

▼高く山巓に添

うて突出して居て、あたりには紅白の彩旗が風に飜つて居る、われ〳〵は其處へ行くべく再び白岳の頂きを降り出した、脚下を見れば京城市街は摺鉢のやう、南山の影は雨に遮られてはつきり見ゑないが鼠色の霓に新綠の樹立は畵のやうでそれに白い景福宮の共進會場跡と光化門通と昌德宮通りが著しく白く眼に著く、京城の鳥瞰圖は全く新綠の樹立と王宮の天下である、更に眼を放てば遥かに白き漢江も見ゑる、纛島も見ゑる、それに又脚下三淸洞の溪谷には一面千年の老松が繁つて居る、斯くて愈よ中食場の高い城壁に著いたのが午前十一時三十分、雨はいよ〳〵酷くなつた、辨當を了ると今度はまた降り路、城壁はあくまでも谷を越ゑ丘を亙つて連つて居る、殊に城壁外は悉く砂防

工事の禿山で內側は悉く松の林

行き行きてわれ等は肅靖門に著いた「此の門は京城で眞當の北門だがなるほど王樣が北漢山城へ落ち延びらるゝには便利な門だ、上の建物は何時壞れたらう」なぞとはなし合ひつゝある間に愈々陸軍砲兵正領魚潭氏の講演が始まつた、此の時樹間漏る雨の滴はいよ〳〵激しく講演は頗る簡單に終つたが何分此の雨ではといふので阿部社長が起つて一場の挨拶を試みると團員一同萬歲を三唱し白岳も爲めに襲はん許りの大元氣であつた、併し雨の爲め此處で解散致しますから南山までは各自の御隨意にと挨拶すると「否否!!遂行々々!!」と異口同音に叫び出す大元氣一行は更に上下二隊に分れて東小門に進んだが愈よ昌德宮裏の鷹峰に來ると秘園の松に雪のやうな白鷺がとまつて東小門一帶の青柳や櫻桃畑も雨に洗はれて一層美しかつた、斯くて東小門からは駱駝山の松林中に入り工業傳習所の裏山から更に東大門に出ると時計は正に午後一時半、一行は更に

▼東大門を一週

して一時四十五分光熙門に出で更に百花園裏から奬忠壇へ向つたがこのあたり松の翠はいよ〳〵濃く洗ひぐる南山の松翠はいよ〳〵延びて見上出されて居る、稍ありて山の中腹に登つた頃此處にも赤木社から準備したお茶の設けがありそれより愈よ進んでわれ等は遂に南山々巓に登りついた、脚下にはまた京城全市と漢江の眺め「愉快々々」を連呼する間に絶頂國師堂の建物に著いた、堂の裡には太鼓の音と唄聲が聽ゐるので何事が起つたかと覗いて見ると今や巫女の神下し最中だこのはなしで冥土から亡者の傳言を聽いて居た若いお神さんはハンカチを顏にあてゝ泣いて居た、次いで國師堂から漢陽公園までの驚くばかりの險道を降りて一同大元氣で南大門に出た、時に午後三時半、兎に角城壁巡りは雨にもめげず大成功で終つたのであつた（をはり）

◎金一萬圓と命
▼不敵な强盜懲役十年

全北金堤郡金堤面鎭管里生れ裵兆範（四八）同面大德里生れ劉贊仲（三九）は大正四年九月二日夜同郡白山面寥橋里後方の山中に至り同面下書里居住鄭相朝所有同人祖父の墓を發掘し頭骨を盜み同年十月中旬某夜、前記鄭相朝の許に「金三千圓を持參せよ、然らざれば汝の家に放火し且つ他の墳墓を發掘すべし」との脅迫狀を傳送し金百圓を奪取し更に同年十一月七日再び鄭に「今度は一千圓の金を持參せよさすれば祖父の頭骨を渡すべし」との脅迫狀を送り金百圓を强奪し更に同年十二月八日夜三度び同人に宛て「汝は先達の夜金と頭骨を交換する際警官を張り込ませたるが我に其罰金として更に千圓を出せ若し出さゞれば汝は勿論汝の兄弟を殺害し家に放火し更に祖母の墳墓を發掘すべし」と脅迫し金二十圓を强奪し本年三月二十七日夜同里鄭基永に宛て金一萬圓を出せ出さねば殺害する旨の脅迫狀を送り金二十圓を强奪し尙ほ外數人より多額の金員を强奪したる外數箇所に於て强窃盜を働きたる事發覺共に懲役十年に處せらる

◎ス氏飛行觀覽者怒る
豆自動車を破壞

スミス氏の飛行は十四日大阪市岡中學校の廣場に於て行ふ筈にて定刻前觀覽者十數萬に達したるが豫定の時間に開始せざりし爲め一般の觀覽者は憤慨し殊に當日は世界巡遊演藝倶樂部の主催にて入場料を拂ひたる見物は大に立腹し其の結果スミス氏の豆自動車を破壞し石を投げて技師二名負傷せしめたる等の騷動を演じ警官憲兵の制止をも肯かず益々暴れ狂ふより長岡中將は飛行機の上に登りて取り鎭め結局スミス氏は二時半機上の人と爲り高空を翔りて鳴尾に向へり立腹せし群集は唯空しく空を眺めて涕然たる有樣なりき（大阪特電）

◎盜掘鑛石密賣

江原道原州郡卅勿山面吉谷里鑛業閔致學は京畿道生れの洪某と結託し資金數百圓を懷中し四月十七日より堤川郡德山面月折里附近を根據とし買鑛に狂奔し四月二十七日斤一圓六十五錢替にて盜掘鑛石二百斤を密買し忠州郡流味面龍川里に搬出し同里四統四戸農鄭東勳（三）同四統十戸農鄭雲亨（三八）の兩名宅に藏匿し五月二日忠州に出で仲買者を物色中忠州憲兵分隊の探知する所となり取調中なりしが審理の結果十二日公州地方法院忠州支廳に於て閔致學は懲役三ケ月罰金二十圓に處せらる

◎苦鹽汁で絶命

京城慶雲洞金大福妻尹姓女（二七）は以前より胃病に惱され居り其都度苦鹽汁を飲用しゐたりしが十一日午後九時頃も胃痛甚だしきより例の苦鹽汁を多量に服用したるに間もなく悶絶したり急報に接し鍾路署より保官醫師出張檢視せしが全く胃潰瘍により絶命したるものと知れたり

◎圖々しい勸誘員

京城孝子洞居明治產業株式會社京城代理店外務監督書記洪泰潤（三三）は勸業債券額面百圓に對して一回二圓五十錢宛にて三十五回を以て全部拂込みを爲し得る樣の方法なるを奇貨とし高陽郡纛島に出向して四月十四日より五月五日迄に同地の金善一外二十二名に對し額面百圓の債券を購買し第一回の拂込金をなしたる者が萬一死亡したる際は金八百圓を交付すべしと欺き七十餘圓を詐取したる爲め高陽署に檢擧されたり

◎天氣豫報發布時刻の改正
［今後の警戒は適別］［觀測上非常に便利］

四月二十八日の總督府訓令第二十二號を以て朝鮮に於ける天氣豫報の發布時刻と暴風警報の一部が改正されて五月十五日から實施することになつた、從來にあつては日々午前六時に支那滿洲朝鮮の同時刻觀測を爲しその電報を取纏めて中央局たる仁川觀測所から

▽各地方に　豫報を發しその日の午後二時半から三時までの間に官公衙新聞社會社團體に通知してゐたものだが午前六時の觀測ばかりでは十二時間前の氣象材料によつて翌日の午後三時まで即ち未來三十六時の觀測をしなければならぬので正鵠を失する事は時として免かれぬわけであつた、所が今回の訓令によれば午前六時の同時刻

▽觀測以外　に更に正午の觀測を中央局に電報してそれによつて仁川觀測所から豫報を發する事になつた、それ丈け豫報の正確が期せらるゝと同時に地方に通知する時間も遲延する事になり從來二時半より三時であつたのが三時過ぎになつた、之れがため

▽支那地方　天津、青島、芝罘等の氣象が手に入つて觀測上非常に便利になつたのである、又暴風警報は朝鮮にあつては從來南北部中部東部西部等の稱呼を以てしその警文も單に風强かるべし何部地方を警戒すといふが如き抽象的なものであつて

▽海岸とも　內陸とも判然しなかつたのであるが今後は各道別とし例へば京畿道及黃海道沿岸を警戒すとか全羅南北道海岸及び同じく慶尙南北道を警戒すといふが如くすべて具體的に發する事になつた、又警報の解報は從來發して居つたのだが之れは

▽廢する事　になつた、その代り警報の有効期間を二十四時と定めて二十四時間を經過すればその警報は自然消滅となる、亦二十四時間を經過して引續き警戒を要する場合には更に警報を發する事になつた、之れは現今外國に行はれてゐる例を採用したのだといふ、何にしても從來に比して遥かに便利を加へたのは事實である

◎總督府傭人運動會

既報の如く總督府會計課主催傭人運動會は十四日景福宮後庭に於て開催の筈なりしも降雨の爲め本町有樂館に於て開催したるが當日は職員及び傭人中堪能のもの出でて種々の演藝を爲し一同興を恣にして六時過ぎ散會したり

本椿香油
貴きに 各宮妃殿下及宮內省御內儀御用之光榮を辱せり ◎九條公爵家始其他華族貴顯方御愛用の榮を忝れり
各博覽會にて金銀牌受領
◎注意 二婦人共頭上桶なきは僞物　定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黑く長くつやを出しさらくとして髮のぬけを防ぎあかつかざる事妙なり

◎タイヤ界の福音　自轉車の生命はタイヤーにありとは一般の定評なるが今回稀世の逸品として發賣せる金鋼鐵込タイヤは純良なる最上等の强靭なる布質を撰び中心には特種の金鋼を圍込み在來品に比すれば三倍乃至五倍の耐久力ある上に品質にて硝子其他の破片等より中袋を傷くる憂は更に無く各位の御好みに應じて夫々保證付販賣する由なるが朝鮮總代理店は南大門外板倉支店なりと

千代本の女將から前觸れも堂々と俳句の訂正申込みが來た▲初め聞いたのは酒の宴であつたのに訂正申込れが作者其人、而かも崖城博士が後見役で控へて居ると斯うお揃ひでは從ひ全文を掲げて訂正の外はない▲曰く先日の俳句はちがひますから訂正願ますよ「花びらの散る下影に晝寢かな」千代子▲花柳界に流行の俳句とは少し趣が違ふけれども此頃妓生の間には竹䈽朧などの謠が復興してお客樣は料理屋へお出で下さいとばかり自分の家では書のお稽古だそうだ▲其動機といふのが此間の松井署長の妓生訓示だといふは面白い

宇治製茶小包直接販賣廣告
一、相場の如何に不拘宇治製本場特製品を以てする事
二、正價を以て親切を旨とし廣告と現品と表裏なき事
三、目方及荷造を嚴にし速に貴需に應ずる事
御茶銘並に定價表（各一斤百六十匁に付）
玉露之部　千羽鶴 金五圓　龜の齡 金三圓　老松 金二圓　寒梅 金一圓五十錢　白竹 金一圓二十錢　高砂 金九十錢
煎茶之部　富士 金一圓二十錢　池の尾 金一圓　大福 金八十錢　堀井園 金七十錢
正喜撰 金六十錢　喜撰 金五十錢　青柳 金四十錢　川柳 金卅六錢
濃茶之部（此部のみ二十匁に付）（挽上げは二割增）　初昔 金四十錢　後昔 金三十錢
薄茶之部（挽上げ二割增）　極詰 金三圓
上別儀 金二圓　別儀 金一圓六十錢
折物之部　折 金九十錢　上雁が音 金七十錢　雁が音 金六拾錢
粉茶之部　玉眞粉 金一圓二十錢　上眞粉 金七十錢　上葉花粉 金七十錢　煎花粉 金四十錢　玉粉 金三十五錢

正價より特に五步引仕候
◎右之外御注文に應じ何品にても調進仕候裝飾は總て御進物に適す
◎右に依り茶銘斤數御住所氏名を明記し前金を爲替又は振替貯金口座へ御拂込の品は無代金引換小包郵便に不便なる種類に限る
◎壹斤に付金十錢引く但し四半斤は一鑵に付上鑵代を要す
◎壹斤代金一圓以下は凡て袋入とす但し鑵詰御入用の節は鑵代を申受く
◎當分價格中受る事
◎郵送費は凡て御需用者の御負擔のこと又現品途中破損豫防の爲上品及斤數遠近等により箱代實費申受くる事
◎卸賣は特に御相談可致候
山城長池郵便局區內青谷村 堀井園 堀井嘉之輔 電話長池十四番 振替大阪七二九九番
本店

最新刊　壯丁讀本
參謀次長陸軍中將 田中義一閣下著　帝國在鄉軍人會本部藏版
入營前 在營中 在鄉中の經典
壯丁は徴兵檢査の前後に於て軍事の必要あり本書は其豫備的教育を受くる目的を以て著作せられたるものなり而して本書は又青年團の補習讀本として帝國青年の間に國民皆兵の精神を徹底せしめんことを期する上にも缺くべからざるものたり故に本書は啻に軍人のみの必讀書に非ず我國家を保護し我國權を伸張せんとする帝國臣民の全體が何れも座右の銘となすべき金玉の經典的文字たり
定價 和裝 美裝 全一冊 金三拾五錢 送料 金八錢
發行所 東京日本橋本石町 振替東京二八〇 寶文館　東京麹町三丁目 振替東京七八四七 丁未出版社

RANTRYO
新潟化學工業所製造
黑色銹止塗料
ラントリオ
鐵材防銹、木材防腐、塗布容易
塗延廣大、乾燥迅速、耐久偉大
光澤艶麗、彈力豐富、貯藏安全
虫害豫防、耐熱强烈、汚染絶無
海外一手販賣 三井物產株式會社
京城本町一丁目
朝鮮代理店 橫山隆一支店 電話一六七番
說明書は御一報次第進呈

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品
糖化力最强にして効力常に一定す
發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衞　大阪平野町二 田畑市兵衞　東京本町四 田邊元三郎

鑛石分析 及鑑定等迅速應需
諸鑛石及有用鑛物買入
大阪鑛物研究所
大阪市北區賓寺町心齋橋筋西 電話東二五五九番

生千瓢 (212)

須藤南翠作　筒井年峰畫

長湫（十三）

斯と見た次郎助氏重、馬を縱横に乘り廻して、隙間もなく下知を傳へ、矢丸の限り、射立て、放立て、矢庭に百四五十騎討ち殪し、怯む處に附け入つて、槍を揃へて突き込むだ、上は大將より下は大工町人に至るまで、今日を限りと思ひ極めた一期の奮勇、さしもの池田勢も、之が爲に喰ひ止められて、捩ひ離ねて見ねた處に、丹羽次郎助氏重、成箟の白面に怒氣の紅をそゝいで、穗長の槍を引扱き、馬を躍らして敵中に突いて入る。若武者ながら城方の大將と見たので、敵八方より取圍めて、我討ち取らんと競ひかゝる。氏重少しも騒ぐ色なく、槍下に十五六騎突いて落し、尚も深く討ち入る程に、片桐半右衛門それと見て、横さまに馬を割り込み、がつしとばかり槍を合した。

半右衛門は素より擄數の古兵である。殊に馬上の達者である。獅子奮迅の勢ひに狂ひ廻る氏重の槍を受け留めて、急度兜の内を見るに、女武者かと見ゆるまでに、色麗はしき少年であつた。

「我子にも等しい小冠者、縦令これが城の大將であらうとも、討つて手柄となるものか、我が槍先は発しくれう」と咄嗟に分別一決したので接ひながら槍を引いて、引外さうとしたのである。

此時城兵は過半討ち死して、殘る者も、多少の創疵を負はぬはなかつた、氏重今は良き敵ご渡り合つて、兎も角もならばやと思ひ決めたので「やあ、其方も名ある侍、大將と見受けるが、一旦敵に槍を合せながら引外す法やある。新しき申し條なれど、清和源氏の嫡流、足利左兵衛助泰氏が六男、一色宮内卿律師公深の後胤、丹羽右近大夫氏勝が次男、同苗次郎助源氏重とは某ぢや。生年僅に十六歳ながら、一城を預る上は敵に取つて不足はあるまい。いで首取つて功名せよや」と高々と名乘して、隙間もなく突き込んだ。

半右衛門も斯く名乘られては、如何とも詮方なく、槍を合して五六合まで突き合つたが、如何してやら氏重が突き出す槍を受け損じて、肩先を突き破られた。不覺の負傷に番與して、槍取り直してかゝると見れば氏重が小腕に縋と絡みつけ、うむと一聲突き伏せて、馬より降りて首を取る。大將既に討たれた後は、二百四十餘人の者共、一人も殘らず討死して、岩崎城は時を縡ぬ間に、池田勢の手に落ちたのであつた。

衆寡固より敵し難く、初めより敗戰を知りながら、少しにても敵兵を喰ひ留めて、此戰ひの物音を、小幡城に知らさうといふ考へであつたので、故らに烈しく砲戰して、終に最初の最期の如く、最後の一人までも奮戰して、一人の生殘者でも出さなかつたのであつたが、池田勢の爲には、思はぬ小勢に騒ぎ立てられて、案外に味方の人數を傷められ、夜の間に境を踰ねやうと思つたのが、此妨害に依つて其意圖が齟齬つたのであつた。去りながら、難なく岩崎城を乘つ取つたので、進行を妨げるものがなく、事始めの軍には、實際幸先は悪くなかつた。

勝入齋は一應岩崎城を検分して、守りの兵の手宛をした上、浮宇ケ原に陣を取つて、暫時人馬の足を休め、曉の天を仰ぎながら、胡床に據つて、討ち取つたる首級どもを實檢して居た。

此時第二陣に打つた堀久太郎秀政は、一里ばかりを隔つて、愛知郡長湫村の東北一里にある檜ケ峰に陣を取り、中軍の先手は、其より西の方にある高根山に陣を取り、三好孫七郎秀次の本陣は、春日井郡稲葉山の上にある白山林といふ處に在つた。其より小荷駄の一行を休息させ、續いて長谷川秀一の後陣、孰れも人馬に息を入れさせ、割籠を開いて兵糧を使つてゐた。

此曉は濃霧四方を罩めて、東の白むのさへ、唯朧氣に見ゆる程であつたが、秀次が本陣に近く、不意に一族の雲の如きものが現はれて、俄かにそれが動き出した。

中谷小兒科醫院

京城大和町三丁目（不老泉附近）　中谷小兒科內科醫院　電話一〇三三番

口復活

蕪子は小野賢一郎君なり曾て仁川の「朝鮮タイムス」に在り掬子ご號し夙に俳壇の俳聖に名あり「東京日々」に入りてより久しく俳界より遠かりしが突然左の音信あり

◎ホトトギス派復活俳一句會、會々、これ近狀なり　蕪子

火の山や黄なる風吹く豆の花

菜の花に輕きめまひや馬の上

瘦牛を移す島山の麥青し

新刊紹介

▲宇宙（創刊號）菊貮六十頁の小宇宙に收むる處は何動亂の支那を如何に考ふべきか某歐洲戰後に於ける與國の根本義水野錬太郎英の金權、獨の學權鐵川榮吉經濟的活動ご地理的關係西田卯八與觀すべき戰後の我經濟界越山太刀三郎我海運界の前途荒川羽山島人スミスに何を學ぶべきか長岡外史江戸時代の繁昌さ吉原の沿革久米邦武全世界を征服しつゝある最近科學界の趨勢加藤生右ゼと信仰其他十數の記事要するに政治經濟を主とし物質精神兩方面の記事を登ぜるもの（二十錢東京市麴町區有樂町一の三實業評論社）

▲少年俱樂部（三の六）戰話あり訓話あり科學談話あり御伽噺あり其他小說冒險談滑稽面白くして有益なるものゝみなり（十六錢東京市本郷區駒込坂下町大日本雄辯會）

▲朝鮮農會報（十一の五）論說には武田農學士の異品種及び異系間の自然交雜より生ずる作物品種の進化及び退化に就てあり雜錄には朝鮮農業觀朝鮮に於ける果樹の病害西師川方に於ける北韓貯藏法苗木の掘取季節と假植地の溫濕度とに就て等あり外に質問應答欄抄錄統計法令農會時報等（二十錢京畿道水原日稠面高等農林學校內同會）

▲わかりやすい肥料配合の話　農業經營實驗書第二編肥料の製造又は配合に就ては化學の原理を說明せざるべからず故に動もすれば難解無趣味となり讀者の感興と離る…

內地農家の困狀

近時農家の經濟状態は米價の低落で [illegible] 四千三百九十戸にして其の中專業農家戸數は九萬五千四百五十二戸耕地十町以上十三戸を増加し居れるが之 [illegible] 戸三町以上は五十七戸五町以上四戸 [illegible] 家の中堅たる可き中農の沒落せんとしつゝある傾向を語るものにして五 [illegible] 家側に就て觀測すれば農家總戸數に於て前年より千四百四十戸を増し專 [illegible] は全く他に轉業せる爲めにして兼業農が増加したるは農事の傍副業とし [illegible] を見れば田反別は前年より二百五十九町七反七畝廿歩を減じ畑に於ても二百八十二町七反九畝十六步を減じ [illegible] じ專業農家が減じて兼業農家が増加し耕地反別年々擴張は扨おき歳々減少しつゝあるは農家の疲弊に原因 [illegible] 二十五日龍山より南大門に至る電車內にて某內地人婦人の懷中せる現金入囊を窃取し其後龍山停車場附近に [illegible]

讀者の領分

堂々たる大陸の大日本の都府として京城はチョットした風でもすぐ砂埃りで濶歩も出來ない今少し何とか出來ないものだらうか體裁に拘はる許りでなく市民の衛生上忽諸に附するに忍びぬそこで當局者は建議すらく両側居住者に強制的に撒水せしむること之れである（最古の住民）

▲重石採掘の出願者を打て一丸とし株式組織の下に配當をなして剰除は總て公共事業に資するの企ありとか何んぞ其發意の妙にして美なる希くば事實として之を吾人に表示せしめよ然らば吾人は汝に依て意味あるサゼッションを與へられたるものなるを知ると共に世界の人は斯の如くにして歩一歩理想の域に進展すべきものなるを確信せん（世界の相場生）

▲花も散り若葉が薫るやうになると遠く鴨緑江を渡つてチヤンコロの石工が侵入して京城のやうな工事の多い所には到る所に玄翁の音が耳を劈くかの如く響いて來る堅固なる彼等の意志は鐵よりも堅き石を割つて粒々と賃金を財布につめ込んで冬になつて歸つて行くもう國境の鐵橋を渡つて何人來たらうか之を防壓する方法如何曰く鮮人に之が道を敎ふるにあり（憂慨生）

▲此の間仲介生君と世界の相場生君との間に大和町二丁目の音樂問題から果しなき議論が出て又其れに贊否を唱ふるものが出て來た僕は仲介生君の度量の大にして且つ論據の正確なるに左袒する一人なり全體相場生君は社會の實際に疎き一貧弱生と認む最も社會を大きく理解して見給へ同君ト如きは單に同じ雪隱に許り出入しての社會の大勢を承知せざる結果彼の樣の愚説イヤ愚論が出るのだ只酒宴中酒興に乘じ高言放歌が一面近隣の風儀に迄影響を及ぼすとは餘りに根據薄弱の説なり社會は左程に暗王の狹少のものの許りは居らず敢て相場生に一本參らする（猿面冠者）

▲國語教育（一の五）特號內容の堅實なるは本誌の特徵なり、國語教育と教科材料は主幹、教育界に於ける國語科の權威佐々醒雪、國語教授の理解的方面吉岡郷甫其取扱講釘正傾向小松折次心力的發展上より見たる國語法中野八十八國字問題よりローマ字教授へ等篤郎其他約二十の記事皆教育家必讀の好文字（十五錢東京市京橋區南傳馬町二の五日黑書店）は此の缺點少なき佳き（十五錢東京市京橋區南傳馬町有朋堂書店）

清酢　マルカン印　日本一　創業三百有餘年
各地到る所の酒醬油店に販賣せり
特約店　日本醬油株式會社出張所　京城太平通二丁目　電話二四五番

指環及時計　仁川本町　糸岐商店　電話三七〇番・振替京城七一

あざ　そばかす　ほくろ　今スグなほせ
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法速に御知らせ致します
●各縣下より續々來院す
陸軍一等軍醫官藤尾博士先生が數年間苦心研究の結果薬を附けた處が人に知れずに害なく不思議にヨクキク藥を創見致しました是迄種々の藥で治療しても込め難き遲はキキメなくお困りの方も一日も早く申込めば自宅療法の藥物を三錢切手封入申込みの人に限り無代進呈す
東京神田錦町三ノ一九　境田けい子
東京本所區柏木三十番地　東京博愛美院

りん病七日藥
化學療法　麻除（リンデヨ）　百發百中
淋疾ハ專門學者ノ創製藥強度ノ薬ニテ胃腸ヲ害セズ急ニ敢テ再發サセヌ……
大阪市東區內本町　東京市神田今川小路　大阪府堺市　日本政府專賣特許　山口商會　振替大阪九八一番
七日分金二圓五十錢　三日分金一圓
内服藥洗滌ノ必要ナシ

新式特許　ちをさゝる機械
新式　月經帶
新式　ね小便袋
都の花
つや衣
定價
密送料各八錢代金引換廿五錢
臺灣、樺太、朝鮮、滿洲三十錢
東京深川區富川町三番地　發賣元　筑波商會

診察無料　藥價低減
京城本町四丁目（櫻井町角）電話二二二四番
七星堂醫院
院主　鈴木慶一
醫師　田垣藏
醫師　淵上精彧

春!!　空ニハ春ガ來ル　タ僕ノ體ニモ春ガ來タ　見給ヘ僕ノ顏ヲ　澤之鶴元氣ノ僕ノ顏ヲ
攝津灘　美味滋養　家庭必備
※澤之鶴
特約店　京城本町一丁目　澤之鶴　日光　壽　佐藤牧商店（電話九二番）

蠶具　蛾框　蠶紙　其他一式　卸販賣
京釜線大田　東洋蠶業株式會社出張所
桑種子大販賣
目錄定價表無代進呈
電話一〇七番　電略トサ　振替京城二二六二番
東蠶社

日韓書房
新版報告
矢野征記著　ショーペンハウエルの研究　定價一圓八十錢　送料十二錢
尾原亮太郎著　新獨逸　定價二圓　送料十六錢
川田次郎著　歐洲戰局の將來　定價一圓五十錢　送料十四錢
井上十二郎抄　人生と努力　定價一圓廿錢　送料十錢
森村市左衛門　立身論　定價一圓十錢　送料八錢
京城本町二丁目　朝鮮電話一二一四・五二七五　振替口座一二一五番

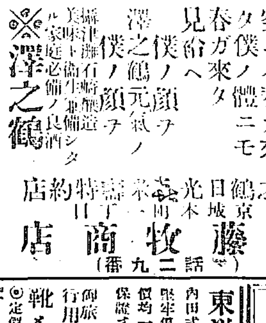
銀行會社　事務員養成　講義錄
所長從四位男爵鹿島　本所の卒業生は各銀行會社の依頼に依り就職せしむ◎卒業六ケ月◎一ケ月四十錢速成二圓廿錢◎規則書郵券二錢封入申込あれ◎東京市京橋區三十間堀一ノ三　銀行會社事務員養成所

滿蒙處分論　露國大將クロパトキン將軍原著　定價金一圓
京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

瀨戶外科皮膚科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀨戶潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

齒科開業
今般左記の所に開業仕り一般患者の診療を旨とし齒術に從事す
診療　自午前八時　至午後九時
京城南米倉町（朝市場通交番所下）
大正齒科醫院
電話取次七一六番
院主　齒科醫學士　税所篤彦　横矢重包

東洋一の魁
流行新型
內田式ストロング靴は堅牢優美、價均一耐久保證す
旅行用
靴と鞄
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
內田靴鞄製造問屋
電話一五五一、振替一八七一七



大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路（臨港航路を除く）同一航路船の時は五分引なりて、總切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　天草丸　五月十七日　午後五時
油頭丸　五月二十日　午後五時
安東丸　五月廿三日　出帆
木浦、釜山、城原、鄉の浦、長崎行　信濃川丸　五月十六日　後二時出
信濃川丸　五月廿九日
鎮南浦、大連行　信濃川丸　五月十一日　後二時出
信濃川丸　五月廿四日
大連直行　福州丸　五月廿三日　正午出帆
潮州丸　五月十五日
木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　須磨丸　五月　日　後二時出
群山、釜山、横濱行　潮州丸　五月二十日　後二時出
福州丸　五月廿九日
清津、浦潮行（元山出帆）　印八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
宮島丸　五月十九日　後二時出
平安丸　五月廿五日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）　城津丸　五月廿六日　後四時出
基隆丸　五月十五日

御注意
○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前御貨送可被致候
○×印は一切客御斷り△印は船客御斷り
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引門司より割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店（電話二番・二一番）
京城切符發賣所　內國通運會社支店（電話七〇八番）

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行　相模丸　六月四日　正午出帆
高砂丸　六月十二日　正午出帆
三河丸　五月廿三日　正午出帆
仁川海岸町二丁目　電話十番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆

鐵道會社及本社船と荷客連帶輸送の便あり
本社　電話長一九五二番、二三一番
京城南大門驛前出張所、代理店、荷客取扱店に御申込あれ
京城取次店　松原運送店（電話長二一七〇番）

○○○○全羅丸・京畿丸・黃海丸・咸鏡丸　五月廿二日・十六日・廿六日　門司より釜山各港寄港雄基間航路　釜山發
○○○穩城丸・昌平丸・鏡城丸　五月二日・廿二日・十七日　元山より各港經由雄基行　元山發
○○忠淸丸・平壤丸　五月十六日・廿二日　城津、清津、浦潮經行復航釜山より門司又は長崎行　元山發
○永興丸　每月廿八回　北久味、古里浦行　元山發
○盈德丸　五月　日　甘浦、九龍里、浦項各港寄港欝陵島行　釜山發
○○江陵丸・寶陽丸　每日　長箭浦方魚津寄港　釜山・浦項發
○三浦丸　五月十七日　長承浦、統營、巨文島濟州島各寄港　釜山發
○○○○海州丸・統營丸・巨濟丸・慶尙丸　每日　各港經由三日目水行（三日目一回水浦行）　釜山發
○順天丸　三日目每ニ　各港經由麗水行、麗水より釜山行に接す　木浦發
○慶興丸　五月十五日　各港經由濟州島行四週　木浦發
○公州丸　五月　日　南多島海列島行（月三回）　木浦發
○公州丸　五月　日　各港經由濟州島行（東廻）　木浦發
○宗信丸　五月　日　海州龍各港甲山、德洞又は內部島行　仁川發
○江原丸　五月十八日　青島、大連、芝罘行　仁川發
○○麗水丸・晉州丸　五月廿二日・十六日　各港經由木浦行　仁川發
○○錦江丸・南陽丸　每日午前　打鍾島、桐島、海州行　仁川發
○平安丸　五月十六日・廿一日　往航大黑山、木浦、門司、若松行　復航門司、木浦、群山行　群山・若松發

共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船株式會社　京城府發命令航路
○芝罘、大連行　第六共同丸　五月　日入港　日前九時出
大連にて歐米の商船會社定期船と連絡し荷客運輸取扱仕候、同社運輸取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　第十一鶴丸　五月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸（元山出帆）　月　日前八時出
仁川代理店　本町一丁目（電話二〇番）　山下回漕部
仁川代理店（電話二四〇番）　田口回漕部
元山代理店（電話二八〇二一七）　河村運送店
京城取次店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　立神丸　五月廿三日　午後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　五月　日　午後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　五月　日　午後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　五月十八日　午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第二長平丸　五月　日　午後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三長平丸　五月　日　午後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　每月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
釜山港町　本船取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行　大正丸　五月　日　午後四時出帆
○大有丸　五月十八日　午後五時出帆
○神代丸　五月十四日　午後五時出帆
○秀吉丸　五月　日　午後五時出帆
○君が代丸　五月　日　午後五時出帆
仁川海岸通　電話五十九番　高杉回漕部